

比治山公園 「平和の丘」 基本計画(素案)

—国際平和文化都市として復興した広島
の「今」を実感できる新たな拠点として—



広島市
平成29年1月

目 次

第 1 章 基本的事項	1
1 背景と目的	1
2 対象区域	1
3 比治山公園の概要	2
4 計画の位置付け	3
5 上位計画・関連計画の整理	3
第 2 章 比治山公園を取り巻く現状	6
1 主な既存施設	6
2 植生	18
3 地形	22
4 景観	24
5 利用状況	27
6 イベントや活動の開催状況	30
7 交通アクセス・回遊環境	31
第 3 章 比治山公園に求められる役割・ニーズ	32
1 観光動向	32
2 余暇活動の動向	36
3 比治山公園に対するニーズ	38
第 4 章 再整備に向けた方向性	45
1 平和・歴史	45
2 文化資源	46
3 自然環境	47
4 景観・眺望	48
5 にぎわい	49
6 園内の回遊	50
7 駐車場・交通アクセス	51
第 5 章 基本計画	52
1 基本計画の策定に当たって	52
2 コンセプトごとの整備内容と各施設の概ねの完成時期	53
3 施設配置	54
4 第Ⅰ期整備について	55
5 第Ⅱ期整備について	57
6 第Ⅲ期整備について	63
7 公園の機能をより発揮させるための環境整備	67
8 施設整備に向けた留意事項	79

第6章 整備・管理・運営について	80
------------------	----

参 考〔法規制の整理〕	81
-------------	----

1 都市計画法	81
2 都市公園法	81
3 景観法	82

第1章 基本的事項

1 背景と目的

比治山公園は、古くから桜の名所であり、現代美術館等の文化施設を有するとともに、公園の隣接地には、戦没者の遺骨が葬られた陸軍墓地や、被爆建物の頼山陽文徳殿があります。また、平和記念公園から約2kmの距離に位置し、都心にありながらも緑豊かな自然に触れられる場所であり、その標高をいかして、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並み等を一望できます。

こうした比治山公園の歴史的価値や立地特性を踏まえて「国際平和文化都市として復興した広島の『今』」を実感できる新たな拠点」として再整備するため、平成27年7月に「比治山公園『平和の丘』構想」を策定しました。

本計画は、この構想に基づき、比治山公園再整備の基本的な内容を定めるものです。

2 対象区域

本計画では、都市公園法に基づく公園区域に加え、放射線影響研究所敷地を始めとする一部の隣接地も含む、以下の区域を対象とします。

対象区域(約29ha)

施設名	管理者	土地所有者
公園区域		
比治山公園	広島市	国
公園区域外		
頼山陽文徳殿	広島市	国
放射線影響研究所	公益財団法人 放射線影響 研究所	
陸軍墓地	広島市	

対象外区域

施設名	管理者	土地所有者
公園区域外		
山王神社	山王神社	山王神社
山王教会	山王教会	山王教会
市営墓地	広島市	広島市
FM放送所	日本放送 協会	国

対象区域図



(参考)比治山公園

所在地	広島市南区比治山公園
開設年	明治36年
公園種別	総合公園
公園面積	約26ha(開設面積)

3 比治山公園の概要

(1) 比治山の歴史、整備経緯

比治山は、デルタが形成され陸続きになる以前は、広島湾に浮かぶ島であり、縄文時代の遺跡である貝塚が発掘された場所です。

明治 36 年には、本市で最初の公園として開設され、桜の名所として親しまれるとともに、明治 42 年には、広島大本営に設置されていた明治天皇の休憩所(御便殿)が移築(原爆により倒壊)され、比治山といえば御便殿と言われるほどの名所になりました。



昭和（戦前）の御便殿（広島市公文書館提供）

原爆が投下された昭和 20 年には、多くの被爆者が、市街地に燃え広がる炎を逃れ、爆心地から約 2km の距離に位置するこの比治山公園に避難したため、園路や木陰などに死傷者があふれたと言われています。一方、比治山公園の東側に位置する段原地区は、比治山の陰となり、致命的な破壊や焼失を免れました。

戦後、昭和 25 年には、本市の反対にもかかわらず、原爆による傷害の実態を調査・記録するため、現在の放射線影響研究所の前身となる原爆傷害調査委員会(ABCC)が建設されました。古くから市民に親しまれてきた比治山は貴重な精神的・文化的財産であることから、本市は、これまでも日米両政府に対し移転を働きかけてきましたが、実現していない状況にあります。

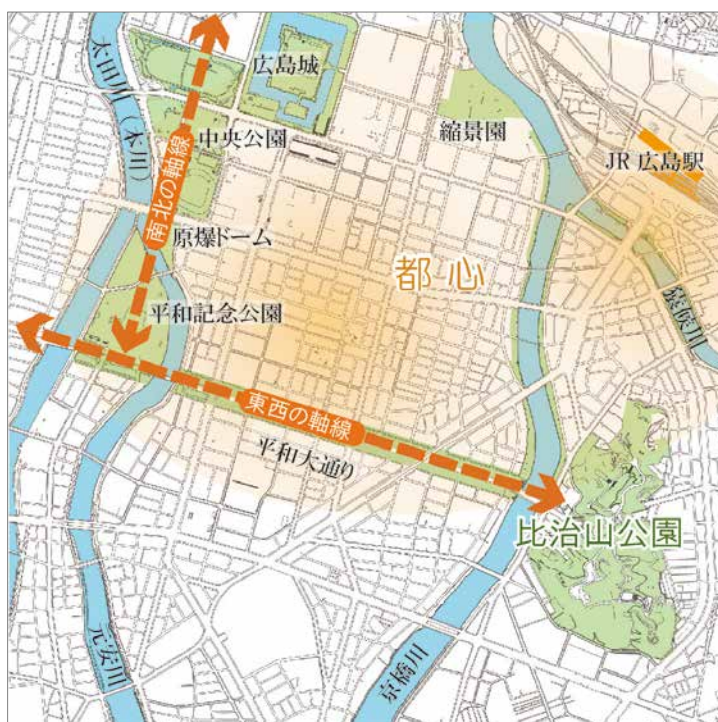
昭和 27 年には、都市計画法上の公園に位置付けられ、昭和 55 年には、政令指定都市移行を記念して、「比治山芸術公園基本計画」が策定されました。この計画に基づき、現代美術館や青空図書館(現在のまんが図書館)といった文化施設や展望台広場等が整備され、現在の比治山公園が形成されました。

(2) 対象地の周辺環境

比治山公園は、本市の都心に位置し、陸の玄関である広島駅や多くの観光客が訪れる平和記念公園から約 1.5 km～約 2 km の距離にあります。また、平和記念資料館本館、原爆死没者慰霊碑及び原爆ドームを結ぶ南北の軸線に直交し、本市の景観上重要な東西軸である平和大通りの東端の延長線上に位置します。

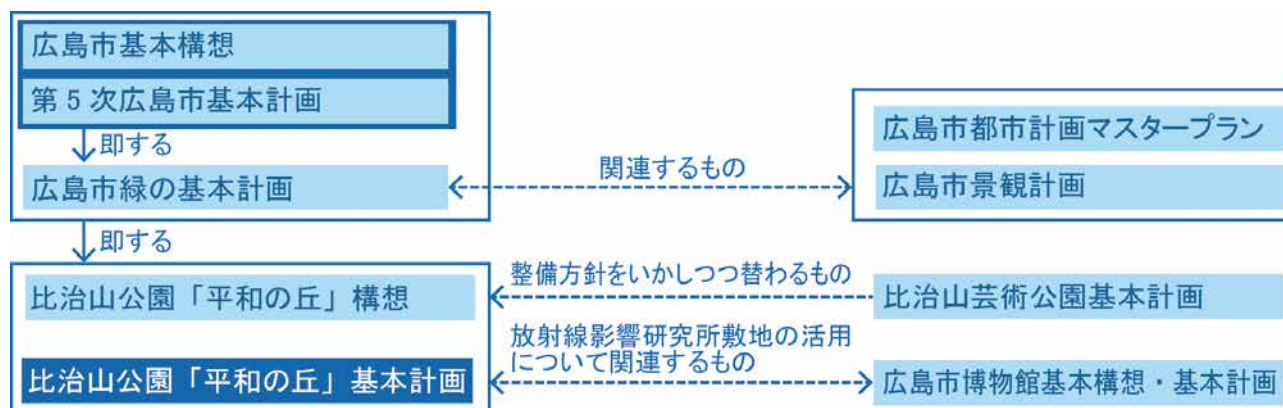
また、都心には、比治山公園を始め、平和記念公園や中央公園、広島城、縮景園といった緑地を有する施設が環状に立地しています。それらが豊かな緑地空間を有する平和大通りと河岸緑地でつながり、都心を囲んでいます。

対象地の位置



4 計画の位置付け

本計画は、広島市基本構想、第5次広島市基本計画及び広島市緑の基本計画を上位計画とし、平成27年7月に策定した比治山公園「平和の丘」構想に基づき、比治山公園再整備の基本的な内容を定めるものです。



5 上位計画・関連計画の整理

本計画の策定に当たり、上位計画・関連計画のうち、比治山公園について記載している箇所や特に関連する箇所について整理します。

(1) 広島市都市計画マスタープラン（平成25年度策定）

長期的な視点に立った都市づくりの目標やその実現に向けた方向性を明らかにし、都市づくりの総合的な指針として活用することを目的とする広島市都市計画マスタープランにおいて、比治山公園は、次のように位置付けられています。

第5章 分野別の方針

－ 6 都市の魅力向上

－ (1) 地域資源を生かした交流・レクリエーション空間の整備

－ エ 人々が憩い、交流する魅力とにぎわいのある都市環境の形成

- － (コ) 市の中心部に近く、豊かな緑と優れた眺望に恵まれた比治山公園について、既存の文化・芸術施設と連携を図りながら、より多くの人が訪れる場となるよう取り組みます。

(2) 広島市緑の基本計画（平成22年度策定）

広島市における緑の将来像を描き、市民や民間事業者等と市が協働して、うるおいのある緑のまちづくりを展開していくための基本的な枠組みや施策への取組の視点を示す広島市緑の基本計画において、比治山公園は、次のように位置付けられています。

第4章 基本理念を実現するための取組

－ 3 施策の展開

－ ② まちの基盤をなす緑づくり

－ (6) 公園緑地の整備

－ 27 多様なレクリエーションが楽しめる公園緑地の整備

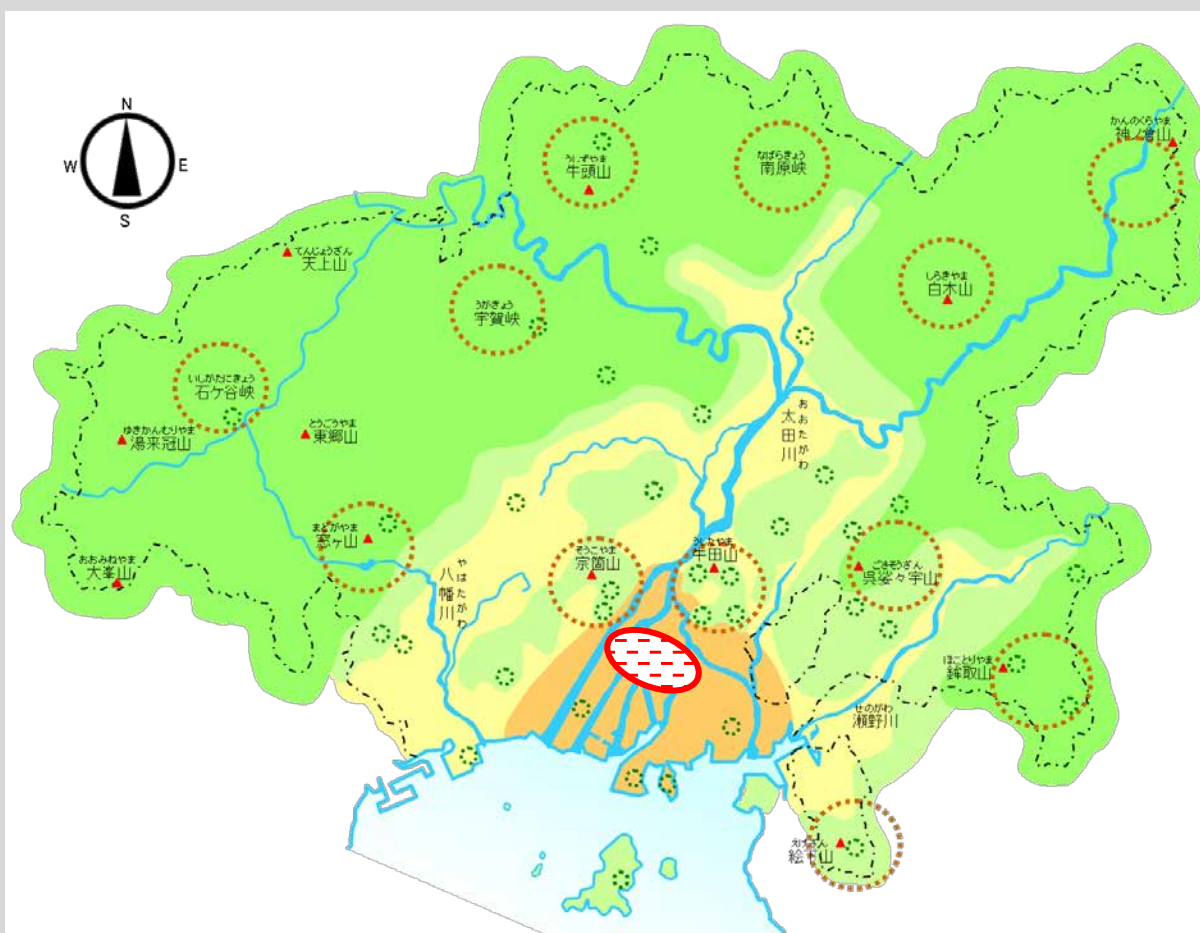
- － 文化活動の拠点となる比治山芸術公園の施設や機能を充実・強化します。

また、水と緑の豊かな自然環境をいかした緑のまちづくりの取組を示した「緑の構想図」において、比治山公園を含むエリアが次のように位置付けられています。

【広島島の平和を象徴する都心の緑】

平和記念公園・平和大通り・河岸緑地など広島を代表する緑が集まっている地区であり、これらの充実と民有地の緑化推進などにより、広島島の平和を象徴する緑の都心空間を形成します。

緑の構想図



緑の構想図の構成要素と内容

	内陸部の豊かな緑 大規模な山林や農地が広がる自然豊かな地域であり、貴重な植生地の保護や農林業、レクリエーションの場として活用し、保全します。		広島島の平和を象徴する都心の緑 平和記念公園・平和大通り・河岸緑地など広島を代表する緑が集まっている地区であり、これらの充実と民有地の緑化推進などにより、広島島の平和を象徴する緑の都心空間を形成します。
	市街地を囲む緑 市街地に接し、緑の背景となっている山林が連なる地域であり、身近に自然に親しむ場として活用し、保全します。		緑がある水辺空間 河岸や海岸などの水辺空間は、河岸緑地の整備や臨海部工場の緑化などにより、水と緑が一体となって連続する空間として市民に開放します。
	緑の新市街地 主に住居系の市街地の地域であり、住宅、事業所、公園、道路、公共建築物などの緑化や団地周辺の樹林、社寺林などの保全により、緑豊かな居住環境を形成します。		緑の拠点 レクリエーションや防災など様々な役割を果たす大規模な都市公園やこれに類似する施設を、緑のまちづくりや緑に親しむ拠点として整備します。
	緑のデルタ市街地 主に商業・業務系の市街地の地域であり、ビルの壁面や屋上、公園、道路、河岸などの緑化や社寺林、屋敷林などの保全により、緑豊かな都市環境を形成します。		森林ふれあいゾーン 自然環境の保全、自然資源を活用した利用施設の整備などにより、市民が自然にふれることのできる場の拠点となるゾーンを形成します。

(出典：広島市緑の基本計画)

(3) 広島市景観計画（平成 26 年度策定）

市民、民間事業者、行政が連携・協働して、本市の目指す「美しく品のある都市景観」を総合的かつ計画的に実現していくための景観形成の方針やルール、方策などを体系的に示す広島市景観計画において、比治山公園は、次のように位置付けられています。

第 6 章 建築物・工作物等の届出制度

- 2 地区ごとの届出対象行為、景観形成の方針及び形態意匠の基準等

- ⑭ 一般区域(景観計画重点地区以外)

- <一般区域のうち特徴ある景観を有する例示地区における地区の特性と景観づくりの方向性>

- ア デルタ市街地

- ④ 比治山公園地区

比治山は、平和大通りから東を見たときに多くの人々の視線が注がれる対象(アイ・ストップ)であるとともに、比治山からは市街地を広く眺望できることから、その視点場としての特性を踏まえながら、現代美術館等を擁する芸術公園として、市民や観光客に親しまれる景観づくりを進める地区

また、比治山公園西側は、景観計画重点地区の一つであるリバーフロント・シーフロント地区（リバーフロント地区）に位置付けられています。

なお、景観計画区域（広島市全域）において一定規模以上の建築物の建築等（届出対象行為）を行う場合については、景観計画に定める景観形成の方針や形態意匠の基準（行為の制限）に適合する必要があります。

(4) 比治山芸術公園基本計画（昭和 55 年度策定）

昭和 55 年に、政令指定都市への移行を記念して、世界的に有名な建築家である黒川紀章氏の設計事務所への業務委託により策定したもので、以下の 3 つを基本的な整備方針に掲げています。

- 国際平和文化都市広島を代表する場所とする。
- 市街地内での貴重な自然であることを重視し、自然を計画のテーマとする。
- 人間が安心してやすらげる空間とする。

この整備方針に沿って、現代美術館や青空図書館（現在のまんが図書館）、ヘンリー・ムーアの彫刻を始めとした様々な屋外芸術作品、美しく風格あるデザインに統一したベンチや照明灯等の施設を整備しました。

本計画は、この整備方針をいかしつつ、この計画に替わるものとして策定します。

(5) 広島市博物館基本構想（昭和 57 年度策定）・広島市博物館基本計画（平成 3 年度）

比治山芸術公園基本計画には、広島の歴史や伝統を認識し創造する場として博物館の整備が盛り込まれ、計画策定後の昭和 57 年度には広島市博物館基本構想、平成 3 年度には広島市博物館基本計画を策定するなど、準備を進めていましたが、予定地にある放射線影響研究所の移転問題や本市の財政状況の悪化等から、平成 10 年度に事業を凍結し、現在に至っています。

第2章 比治山公園を取り巻く現状

1 主な既存施設

比治山公園及びその隣接地にある主な既存施設は以下のとおりです。各施設の概要は次頁以降に記載しています。

主な既存施設



(1) 現代美術館

現代美術館は、全国で初めて現代美術に本格的に取り組む公立美術館として、平成元年に開館しました。比治山公園の中核的な文化施設として、多様な現代美術を紹介する展覧会の開催に加え、子どもから大人まで楽しめる参加型のワークショップや美術館のパブリックスペースを利用した展示など、バラエティ豊かなプログラムを提供しています。

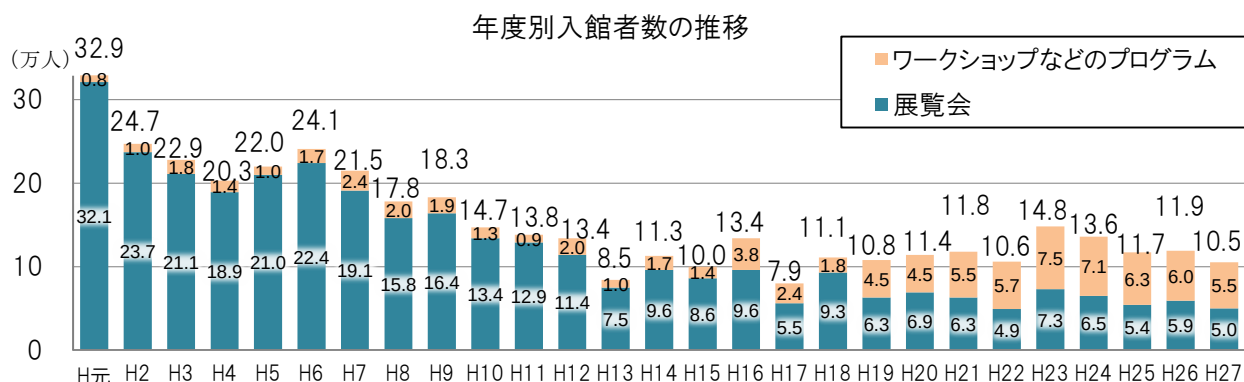
建物は、建築家・黒川紀章氏による設計で、円形広場（アプローチプラザ）の屋根の一部はカットされており、そのかなたに爆心地が見えるデザインとなっています。



写真：広島市現代美術館の外観

【課題】

- ・ 展覧会の観覧者数が伸び悩む一方、ワークショップなどの参加者数は増加傾向にあり、展覧会の観覧者数を上回る状況にあります。
- ・ 開館から 27 年が経過し建物や設備が老朽化して更新が必要な状況であり、また、バリアフリー化や案内表示の多言語化に対応できていない状況にあります。



(2) まんが図書館

まんが図書館は、昭和 58 年に比治山公園青空図書館として開館した後、平成 9 年に改修し、公立で初めての漫画専門の図書館として開館しました。

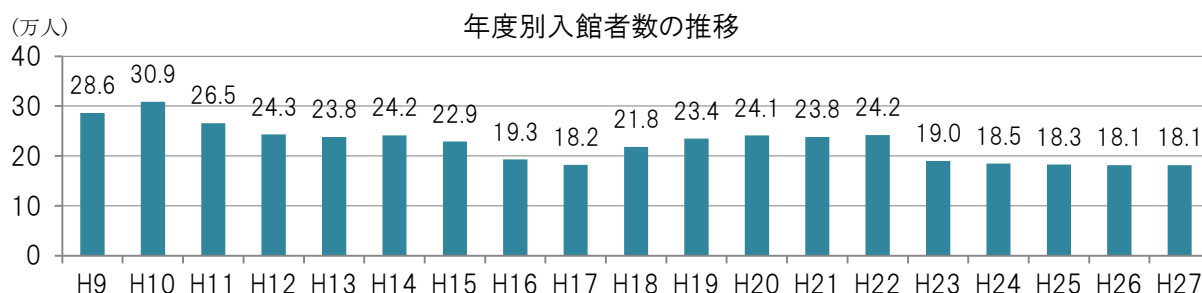
良質で資料的価値の高い漫画や漫画研究のための資料を収集・保存し、閲覧・貸出を行うほか、資料展示や講座などの行事を開催しています。



写真：まんが図書館の外観

【課題】

- ・ 蔵書の増加により書庫が不足し、1階ロビーを書庫スペースとしているため、ロビーを活用した展示や行事の開催に制約があります。
- ・ 緑陰読書を推進していますが、図書館前の広場の石段に屋根がないことや隣接する御便殿広場に木陰が少ないことなど、快適に読書ができる環境が整っていないため、利用は少ない状況にあります。



(3) スカイウォーク

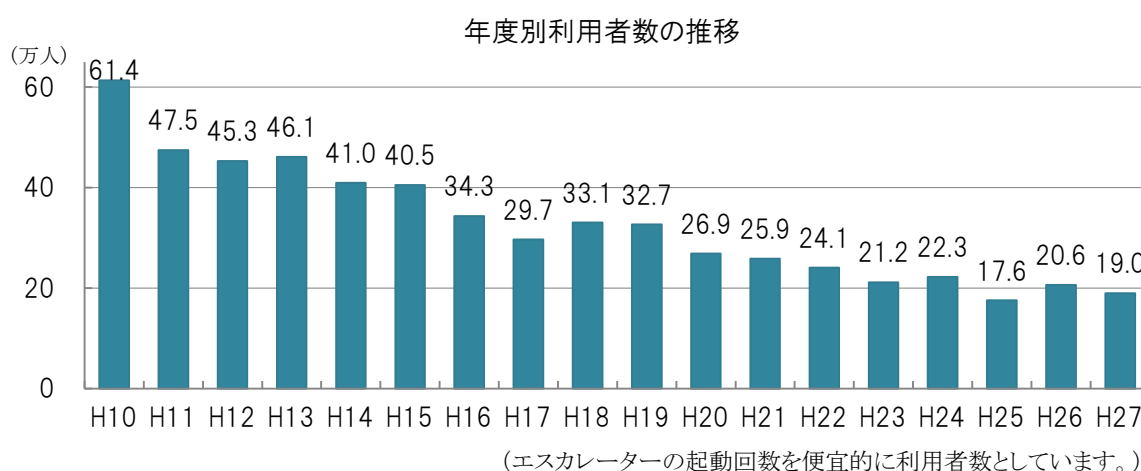
スカイウォークは、比治山公園へのアクセスの向上を図るため、平成 10 年に整備された全長 207.4m・高低差 37.5m の歩道橋で、動く歩道とエスカレーターで構成されています(平成 27 年度の維持管理費は約 2 千万円です)。また、公園に近接する段原ショッピングセンターに接続しているため、一定時間、現代美術館やまんが図書館の利用者は同ショッピングセンターの駐車場を無料で利用することもできます。



写真:スカイウォークの内観

【課題】

- ・ 利用者は減少傾向にあり、段原ショッピングセンターの駐車場からスカイウォークを利用して現代美術館等を訪れる人も少ない状況にあります。



(4) 頼山陽文徳殿

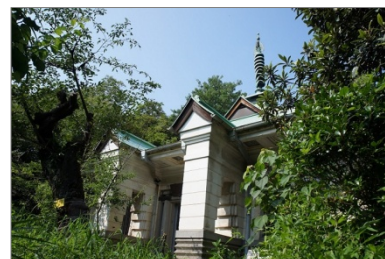
頼山陽文徳殿は、昭和 9 年に頼家一族の墓地に隣接する地に建設された、西洋風の重厚な外壁や屋根に九輪を載せた特徴的な建物で、建物内には頼山陽の座像が据えられています。

原爆により、窓ガラスは割れ、瓦は吹き飛び、屋根の九輪は楕円に変形したものの火災は免れ、その姿を今にとどめており、変形した九輪は現在でも確認することができます。

戦後、市の戸籍課や市立浅野図書館、市民のための社会教育施設として利用されたほか、昭和 39 年から昭和 60 年頃までは、地元の書道教室などとして利用されていました。

また、敷地内には、被爆樹木であるソメイヨシノが残っています。

なお、建物内部は現在、公開していません。



写真上:頼山陽文徳殿の外観
写真下:頼山陽文徳殿の内観

【課題】

- ・ アクセス路となる園路から見えにくい場所に位置しており、建物の存在や特徴が公園利用者に伝わっていないことなどから、見学者は少ない状況にあります。
- ・ 建設後 80 年以上が経過し、老朽化していることから、保存のための改修が必要な状況にあります。

(5) 陸軍墓地

陸軍墓地は、明治 5 年に陸軍埋葬地として国が設置した墓地で、西南戦争から第二次世界大戦までの多数の日本人戦没者の遺骨が葬られているとともに、日清戦争、第一次世界大戦時等に広島で亡くなった中国人、フランス人、ドイツ人の墓もあります。

当初は、現在の放射線影響研究所の位置にありましたが、同研究所の建設に当たり、昭和 24 年にいったん比治山公園内の忠魂墓碑へ改葬された後、昭和 35 年に現在の陸軍墓地へ改葬されました。

また、公園の南端に位置し、似島を始め瀬戸内海に浮かぶ島々を一望できる場所でもあります。

【課題】

- ・ 墓地の入り口にある建屋の老朽化が進んでおり、訪れにくい雰囲気があります。



写真上: 陸軍墓地の入口の建屋
写真下: 陸軍墓地の状況

(6) 放射線影響研究所

放射線影響研究所は、原爆傷害調査委員会 (ABCC) を前身として、昭和 22 年に創設された後、昭和 25 年に比治山に開設しました。

比治山は、古くから貴重な精神的・文化的財産として市民に親しまれていたため、本市は比治山への建設に反対しましたが、戦後の占領下において、建設が強行された経緯があります。

このため、運営費・施設整備費を負担している日米両政府に対し、長年にわたり移転を要望してきましたが、実現には至っておらず、具体的な移転計画も示されていない状況にあります。早期移転に向け、引き続き日米両政府及び同研究所に対し強く働きかけていきます。

また、同研究所職員の宿舎である比治山ホールは、日本を代表する建築家の一人である前川國男氏により設計され、昭和 28 年に建設されたものであり、平成 26 年には、広島県が主催する「ひろしまたてものがたり」における「魅力ある建物 100 セレクション」にも選出されています。



写真上: 放射線影響研究所の外観
写真下: 比治山ホールの外観

【課題】

- ・ 放射線影響研究所敷地には、広島歴史や伝統を認識し創造する場として博物館を整備する計画がありますが、同研究所の移転問題や本市の財政状況の悪化等から、平成 10 年に事業を凍結しています。
- ・ 比治山ホールについては、移転する際、保存・活用することも視野に入れて検討する必要があります。

(7) 広場

比治山公園には、お花見やバーベキューなどに利用されている御便殿広場や桜の広場、デルタ市街地の街並みを眺望できるムーアの広場や富士見台展望台、遊具を楽しめる遊具広場等、様々な広場が点在しています。中でも御便殿広場は、他の広場に比べて利用者数が多く、地域でのイベントやグループでのピクニック、ボール遊びなど様々な目的で利用されているほか、災害用仮設トイレを設置するための下水道施設(マンホールトイレ)が整備されており、被災時の避難場所としての機能を有しています。なお、現在は利用されていませんが、FM放送所横の広場には、電波塔撤去後の空き地があり、標高をいかした眺望を得ることができます。

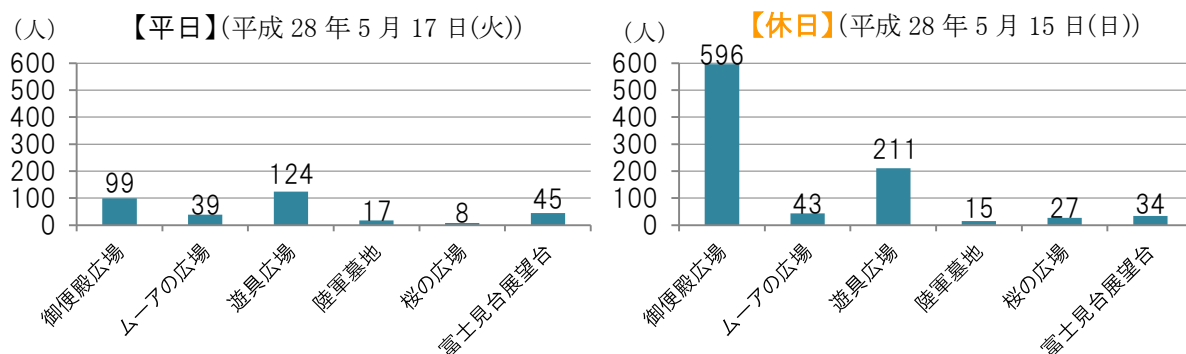


写真上:ムーアの広場
写真下:FM放送所横の広場

写真上:御便殿広場
写真中:富士見台展望台
写真下:彫刻の丘

写真上:桜の広場
写真中:遊具広場
写真下:汐見台

園内広場等の利用実態



※人数は、延べ利用者数(30分ごとに計測数を加算)
※27頁の利用状況の調査によって実施したもの

【課題】

- ・ 御便殿広場と遊具広場は一定の利用がなされていますが、そのほかの広場はあまり利用されていない状況にあります。
- ・ FM放送所横の広場についても、眺望をいかした活用を検討する必要があります。

(8) 駐車場

比治山公園には、三つの駐車場があり、第一駐車場には 30 台、第二駐車場には 58 台、第三駐車場には 27 台(22 台+大型 5 台)を駐車することができます。

また、現代美術館やまんが図書館の利用者は一定時間、無料で段原ショッピングセンターの駐車場を利用することもできます。



写真: 第一駐車場(30 台)

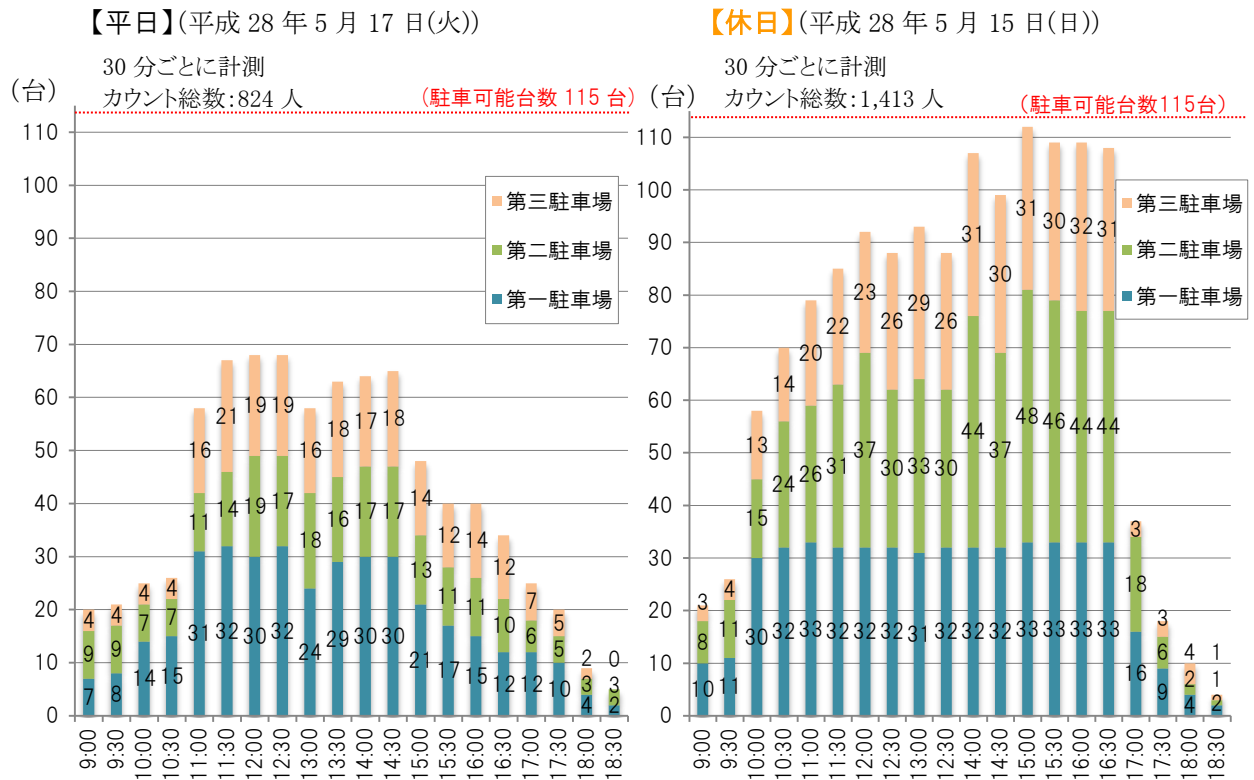


写真: 第二駐車場(58 台)



写真: 第三駐車場(27 台)

駐車場の利用実態



【課題】

- ・ 現代美術館やまんが図書館に近い第一駐車場は、平日・休日ともに利用が多く、特に休日には一日中満車になる一方で、三つの駐車場を合わせた比治山公園全体としては、平日・休日ともに比較的空きのある状況です。
- ・ 第二・第三駐車場から現代美術館やまんが図書館までの間には、高低差や階段があり、誰もが移動しやすい環境が整っているとは言えない状況にあります。

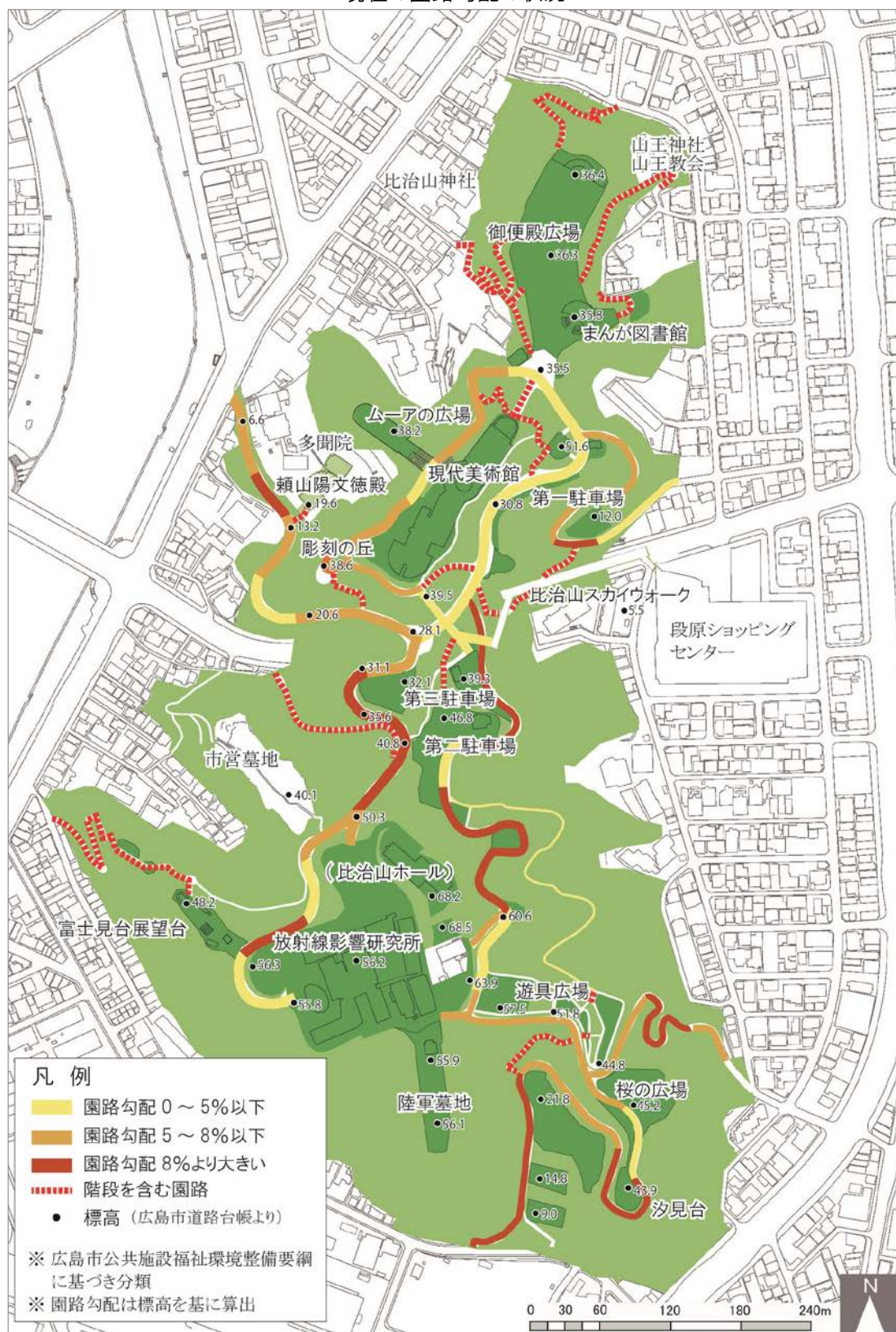
(9) 園路

比治山公園には、自動車が通行可能な三つの園路のほか、歩行者専用の複数の園路があります。

現在の園路の状況



現在の園路勾配の状況



【課題】

- ・ 自動車が通行可能な園路には、歩道が整備されていない区間があり、散策やジョギングなどを行う公園利用者の安全を確保する必要があります。
- ・ 高低差のある地形であるため、勾配の急な園路があります。
- ・ 樹木が生い茂り、薄暗い園路が多くなっています。

交通量について、自動車は、多聞院横の電車通りに接続する園路の利用が最も多くなっており(1,151 台/日)、自動車による来園の 8 割弱がこの園路となっています。

次に歩行者は、スカイウォークの利用が最も多く(819 人/日)、多聞院横の電車通りに接続する園路(419 人/日)に比べ、約 2 倍の利用があります。また、自動車・歩行者ともに、公園南側の園路に比べ北側の園路の交通量が多くなっています。

園路の交通量(休日)



(10) 売店・軽飲食店

比治山公園には、園内各所に六つの売店・軽飲食店があります。そのうち現代美術館内にある軽飲食店は、美術館利用者を始めとした公園利用者の休息の場として利用されている一方で、そのほかの売店・軽飲食店は、ほとんど営業しておらず、自動販売機による飲み物の販売にとどまっている状況にあります。



写真上:売店・軽飲食店-1(美術館内)
写真下:売店・軽飲食店-4

写真上:売店・軽飲食店-2
写真下:売店・軽飲食店-5

写真上:売店・軽飲食店-3
写真下:売店・軽飲食店-6

【課題】

- ・ 営業していない売店・軽飲食店は、昭和 20 年代から昭和 40 年代に設置されたもので、建物の老朽化が進み、防犯・防災及び景観上、好ましくない状況にあります。

(11) 管理事務所

比治山公園には、警備員の常駐する管理事務所があり、公園内の巡視や通行車両の誘導、公園利用者への対応等を行っています。



写真:管理事務所の外観

【課題】

- ・ 昭和 45 年に設置されたもので、建物の老朽化が進んでいます。

(12) 記念碑・芸術作品等

比治山公園には、歴史を伝える様々な記念碑や、彫刻等の芸術作品があります。



1 テク・テク・テク・テク(最上壽之)



2 皇太子殿下御展望之御跡碑



3 天皇陛下御在位六十年奉祝記念碑



4-1 大典記念帝国在郷軍人会広島市連合分会記念碑



4-2 大典記念帝国在郷軍人会広島市連合分会記念碑



5 $1 \cdot 1 \cdot \sqrt{2}$ (田中薫)



6 拓魂碑



7 笛吹き少年(舟越保武)



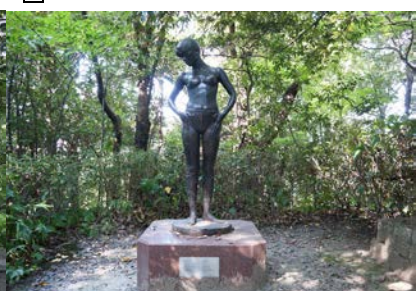
8 即位大典記念碑



9 播磨屋町民建之碑



10 イブ(舟越保武)



11 ポケット(佐藤忠良)



12 アーチ(ヘンリー・ムーア)



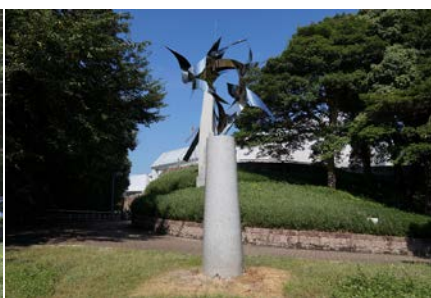
13 加藤友三郎銅像台座



14 御大典記念碑



15 安芸の翼(澄川喜一)



16 疾風フラッシュバック(野田正明)



17 私たちの星(新宮晋)



18 早速整璽銅像台座



19 殉職警察職員之碑



20 広場開設記念碑



21 殉職消防職員之碑



22 忠魂墓碑



23 文芸の碑



24 正岡子規句碑



25 馬魂碑



26 田淵十風子句碑



27 松田重次郎像



28 比治山貝塚

【課題】

- ・ こうした記念碑・芸術作品等を活用した公園の魅力向上策を検討する必要があります。

2 植生

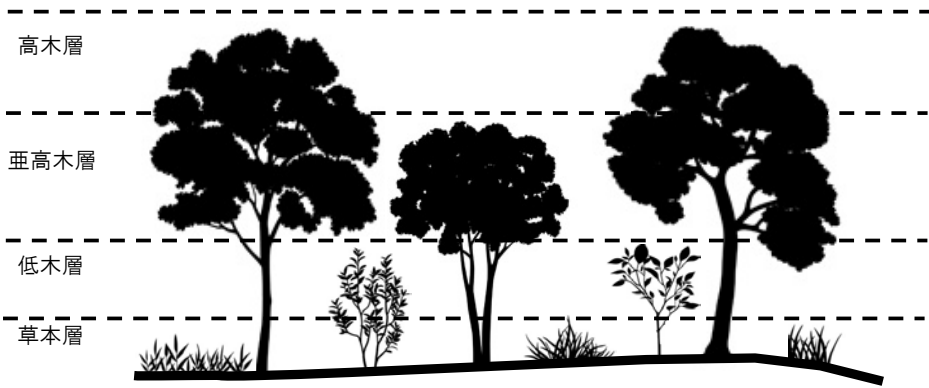
園内の植生については、常緑広葉樹の生い茂るシイ・カシの二次林※が大部分を占めており、一部に落葉広葉樹の広がるコナラ・アベマキの二次林※が見られます。こうした樹林の中には、美しい花の咲く植物や食べられる実のなる植物など、見て触れて楽しめる植物もあり、樹林内の散策や遊びを通じた子どもの自然体験といった活用も期待できます。

一方、常緑広葉樹を主体とした樹林は、十分な光が地面に届きにくいいため、樹林内の散策路は薄暗くなりがちであり、防犯面の課題があります。また、古くから桜の名所として知られていますが、近年では樹勢が弱っている桜も多く見られます。

※ 二次林:原生林(一次林)が伐採や山火事などによって破壊された後、自然又は人為的に再生した林

樹林の説明

シイ・カシの二次林※		コナラ・アベマキの二次林※	
			
高木層にシイ・カシ類が混生する常緑広葉樹の二次林※。十分な光が地面に届きにくいいため樹林内が薄暗くなり、地面に草があまり生えない。		高木層にコナラやアベマキが混生する落葉広葉樹の二次林※。十分な光が地面に届くため、樹林内が明るく、地面には草が生い茂る。	
立木密度	25 本程度/100 m ²	立木密度	30 本程度/100 m ²
主要な構成種		主要な構成種	
高木層	アラカシ、クスノキ、タブノキ	高木層	コナラ、アベマキ
亜高木層	カナメモチ、クロガネモチ、ナナミノキ	亜高木層	リョウブ、アオハダ
低木層	ヒサカキ、サカキ、シロダモ、カクレミノ、ヤブツバキ	低木層	モチツツジ、ガクウツギ、エゴノキ、ミヤマガマズミ
草本層	ベニシダ、キツタ、テイカカズラ	草本層	ヒカゲスゲ、サルトリイバラ、コウヤボウキ、チゴユリ

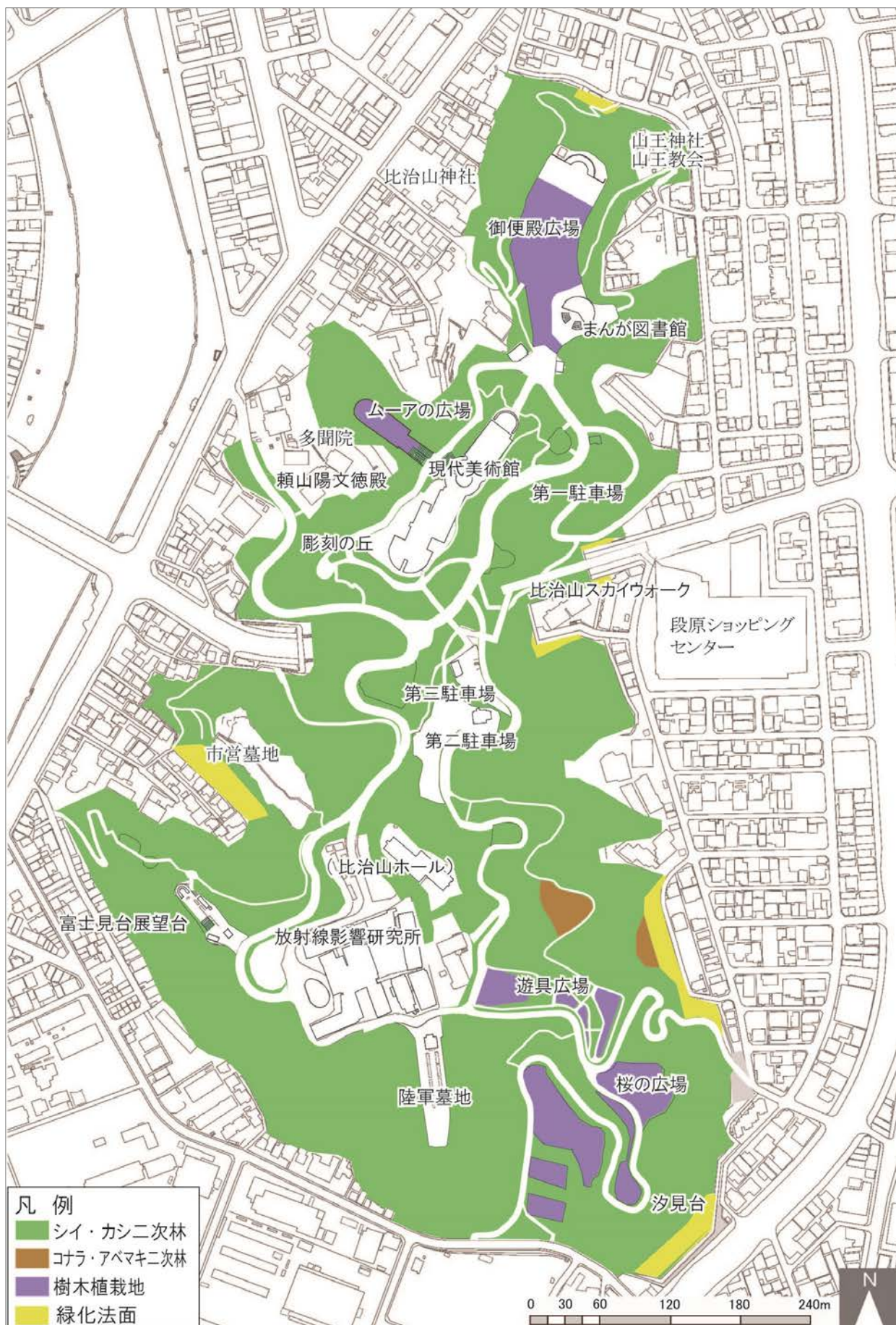


見て触れて楽しめる植物とその特長

(五十音順)

種 名	特 長
アカマツ(三葉松)	アカマツは二葉松のため、三葉のものは珍しい。
アカメガシワ	新葉が赤く、見て楽しめる。
アベマキ	ドングリがなり、笛ややじろべえ等のクラフトの材料となる。
イロハモミジ	紅葉が美しく、見て楽しめる。
エゴノキ	花が美しく、庭木や街路樹として利用される。ヤマガラなどの野鳥が集まる。
エノキ	果実をヒヨドリなどの野鳥が好む。
クサイチゴ	花が美しく、果実は食べられる。
クスノキ	しょうのう 樟脳の原料となる。
クロガネモチ	赤い実が美しく、庭木として利用される。
コナラ	ドングリのなる木であり、環境教育等への活用が可能である。
スダジイ	ドングリがなり、笛ややじろべえ等のクラフトの材料となる。ドングリは渋みが少なく食べられる。
センダン	花が美しく、庭木として利用されることもある。
タブノキ	沿岸に多い照葉樹。草木染の原料や庭木として利用される。
ノビル	若葉や地下茎は食用となる。
マテバシイ	ドングリのなる木であり、ドングリは食べられる。
ミヤマガマズミ	白い花や赤い実が美しく、見て楽しめる。
ヤブウツギ	花が美しく、見て楽しめる。

現況植生の状況



桜の植栽地及び見て触れて楽しめる植物の分布



(桜の位置は平成 21 年度に実施した「公園施設現況調査」の結果等による)

3 地形

(1) 平坦地及び標高の整理

比治山公園は、都心に残る自然の山を活用した公園であるため、平坦な場所は尾根に集中しています。それらの多くは現代美術館や放射線影響研究所等の施設や駐車場として使用されているため、公園の魅力創出に新たに利用できる平坦な場所は少ない状況となっています。また、それぞれの平坦地の標高は異なっており、最も標高のある放射線影響研究所の宿舎(比治山ホール)のある場所と、まんが図書館のある御便殿広場では、約 30m の高低差があります。

平坦地及び標高



(2) 土砂災害危険箇所及び急傾斜地崩壊危険区域の整理

比治山公園の外周は、広範囲に土砂災害危険箇所における急傾斜地崩壊危険箇所になっています。また、南側では、いくつかの箇所で土石流危険渓流になっている箇所があります。これらの箇所を対象として、今後、広島県による現地調査が行われ、調査の結果によっては、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域及び特別警戒区域が定められます。

また、西側の一部では、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律に基づく急傾斜地崩壊危険区域に指定されています。

土砂災害危険箇所及び急傾斜地崩壊危険区域



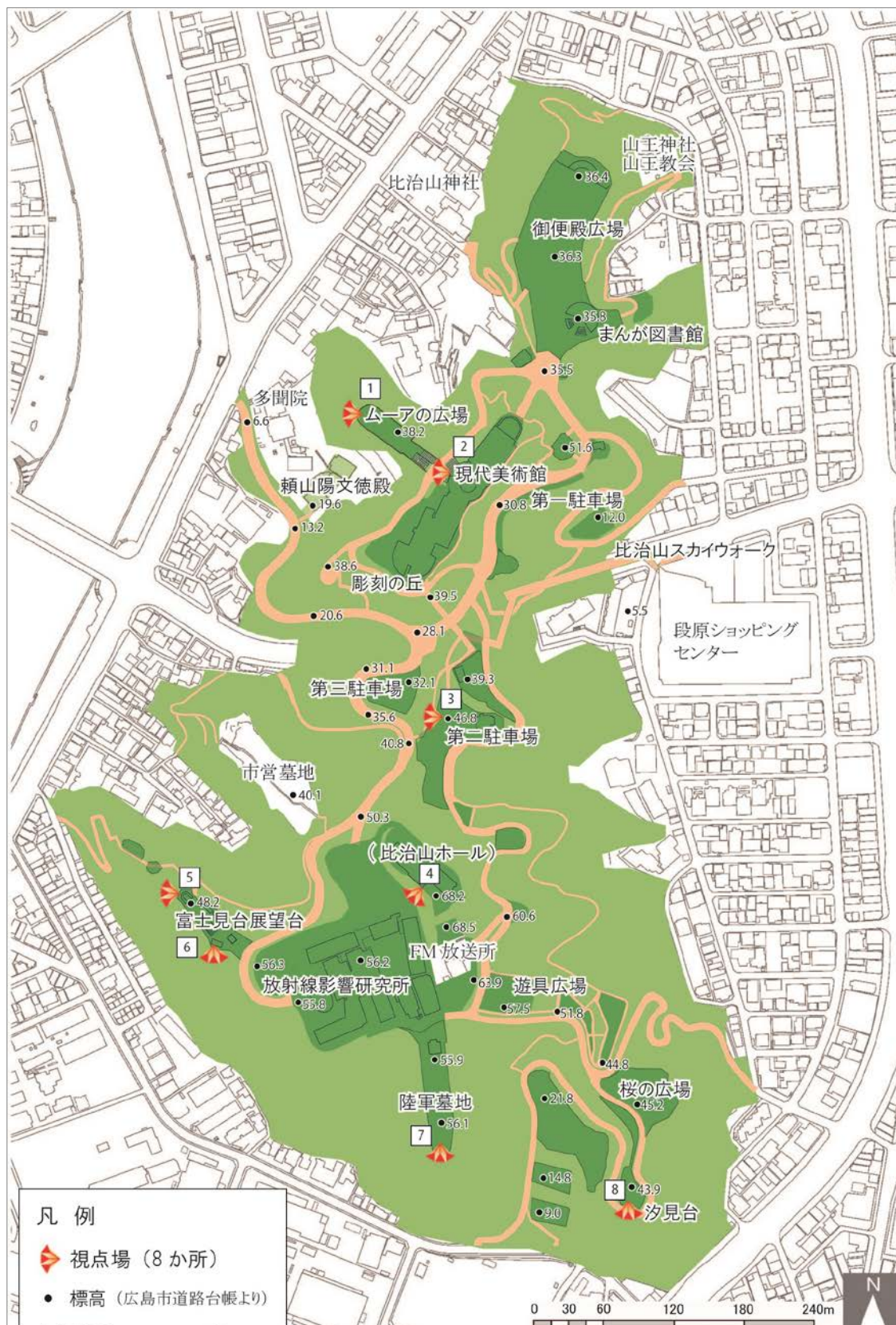
（出典：土砂災害ポータルひろしま）

4 景観

(1) 園内からの眺望

比治山公園は、その標高をいかして、戦災復興のシンボルである平和大通りを始め、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並みや、似島を始め瀬戸内海に浮かぶ島々を眺望できる多くの視点場を有しています。一方で、樹木が生い茂り、眺望がきかない視点場も多くなっています。

視点場





1 ムーアの広場から北西(爆心地)方向を見る



2 現代美術館屋外から西方向を見る



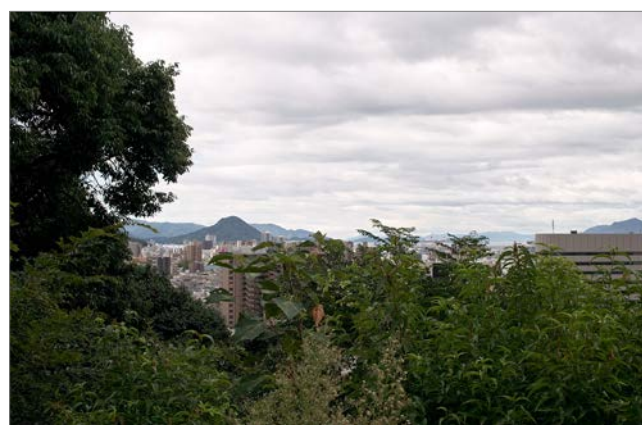
3 第二駐車場から西方向を見る



4 比治山ホールから南西方向を見る



5 富士見台展望台から西方向を見る



6 富士見台展望台から南方向を見る



7 陸軍墓地から南方向を見る



8 汐見台から南方向を見る

(2) 市街地からの景観

比治山公園は、平和大通りから東を見たときに多くの人々の視線が注がれる対象(アイ・ストップ)として、また、「水の都ひろしま」の象徴的な景観を構成する要素として、大きな役割を担っています。



写真:平和大通りから比治山公園を望む



写真:デルタ市街地の景観に溶け込む比治山公園

5 利用状況

平成 28 年 5 月 15 日(日)及び 5 月 17 日(火)に実施した交通量調査の結果によると、比治山公園には、平日の 5 月 17 日には約 1,500 人※、休日の 5 月 15 日には約 2,200 人※の方が来園しています。

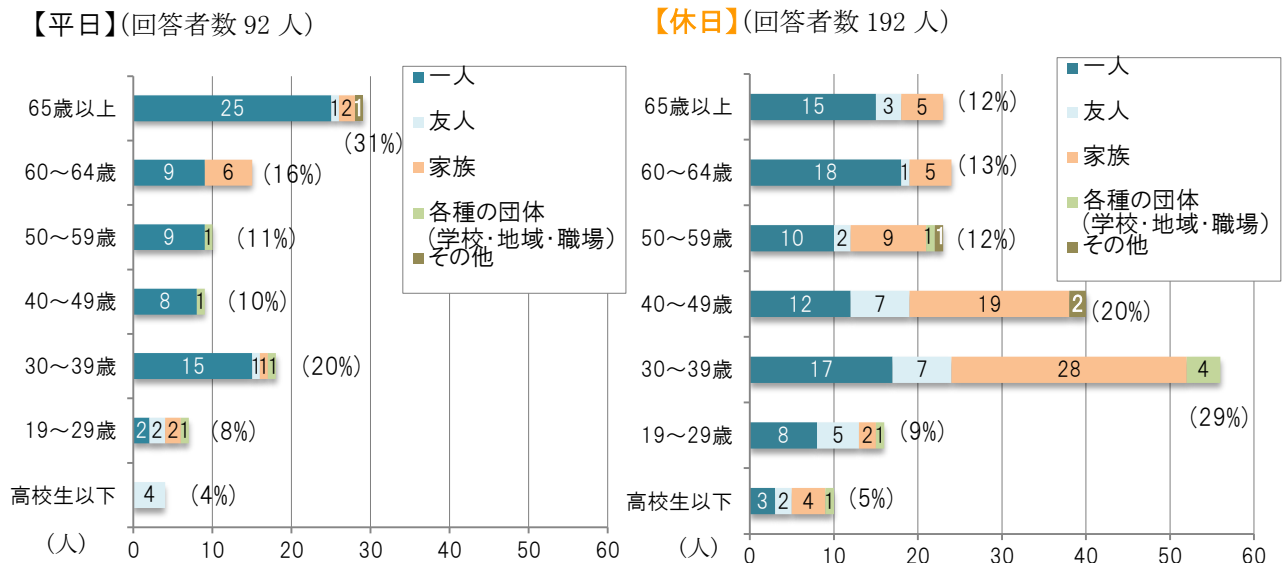
※ 自動車が通行可能な三つの園路及びスカイウォークの交通量を集計したもので、その他の歩行者専用の園路の交通量は含まない。また、自動車は、平成 17 年度全国道路・街路交通情勢調査の結果から、自動車 1 台当たり平日 1.33 人・休日 1.72 人乗車しているものとし、その通過台数から利用者数を算出した。

交通量調査と同じ日に実施した利用者に対するアンケート調査により得られた利用者の属性や利用目的等については以下のとおりです。

(1) 利用者層（年齢）

平日は「65 歳以上」(31%)と「60～64 歳」(16%)が利用者の約半数を占め、総じて一人での利用が多く、一方で、休日は「30～39 歳」(29%)と「40～49 歳」(20%)が利用者の約半数を占め、平日に比べ家族での利用割合が高い傾向にあります。

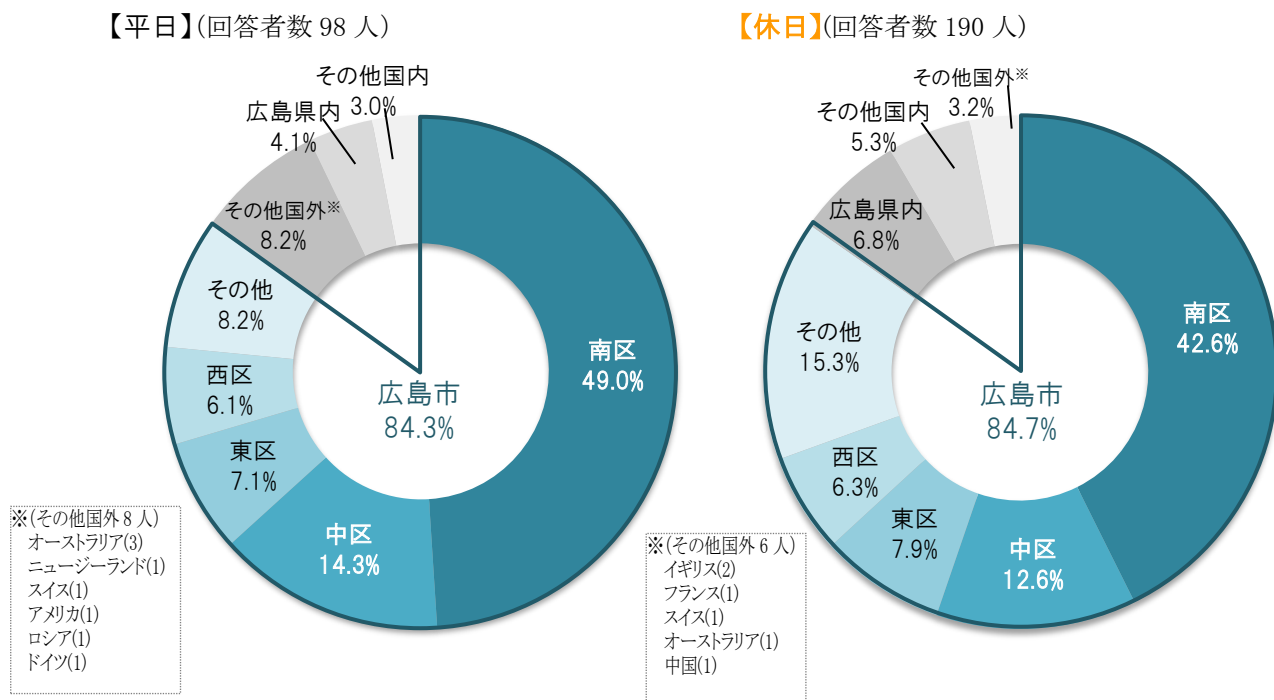
利用者層(年齢)と同行者



(2) 利用者層（居住地）

平日・休日ともに、市民の利用が約 8 割を占めており、特に南区居住者の利用が全体の半数近くを占めています。

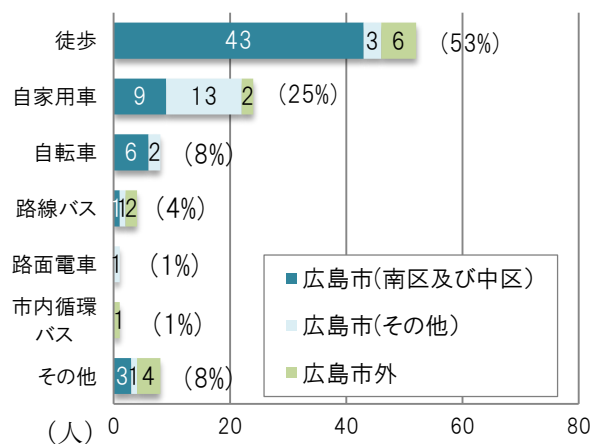
利用者層(居住地)



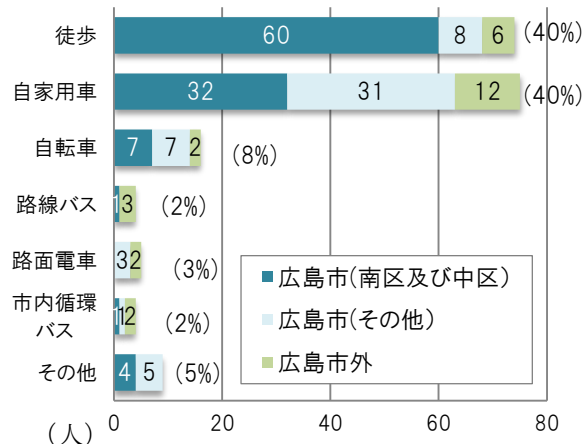
(3) 来園手段と居住地

平日は、「徒歩」による来園が約半数を占めており、そのうち約 8 割の方は南区及び中区から来園しています。一方、休日は、「徒歩」による来園、「自家用車」による来園がともに約 4 割を占めており、「自家用車」による来園の内訳としては、南区及び中区以外の区や市外からの来園が半数以上を占めています。また、平日・休日ともに、「バス」「路面電車」による来園は少ない状況にあります。

【平日】(回答者98人)



【休日】(回答者187人)



(4) 利用目的

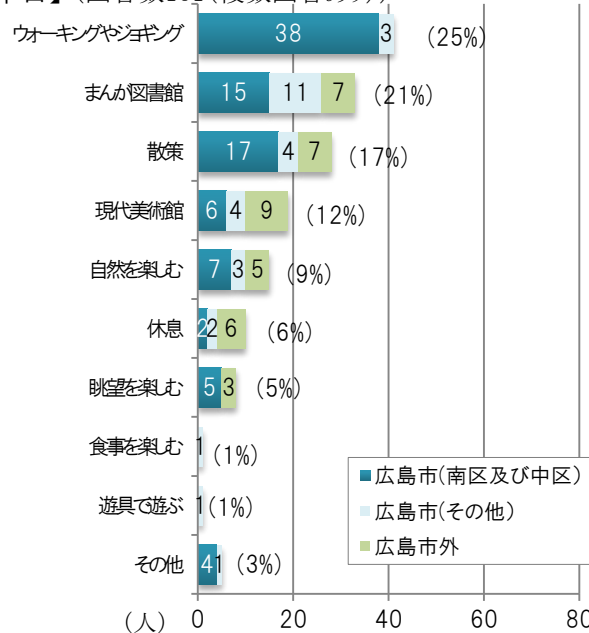
平日・休日ともに、「ウォーキングやジョギング」や「散策」、「まんが図書館」や「現代美術館」の利用を目的とした利用者が全体の約7割を占めています。中でも、平日は、「ウォーキングやジョギング」を目的とした利用者の割合が最も高い(25%)一方で、休日は、「まんが図書館」を目的とした利用者の割合が最も高く(22%)なっています。また、平日に比べ、「食事を楽しむ」を目的とした利用者の割合が高く(6%)なっています。

また、居住地別では、平日・休日ともに、南区及び中区の利用者は、「ウォーキングやジョギング」の利用割合が高い一方、その他の区や市外からの利用者は、「まんが図書館」や「現代美術館」の利用割合が高くなっています。

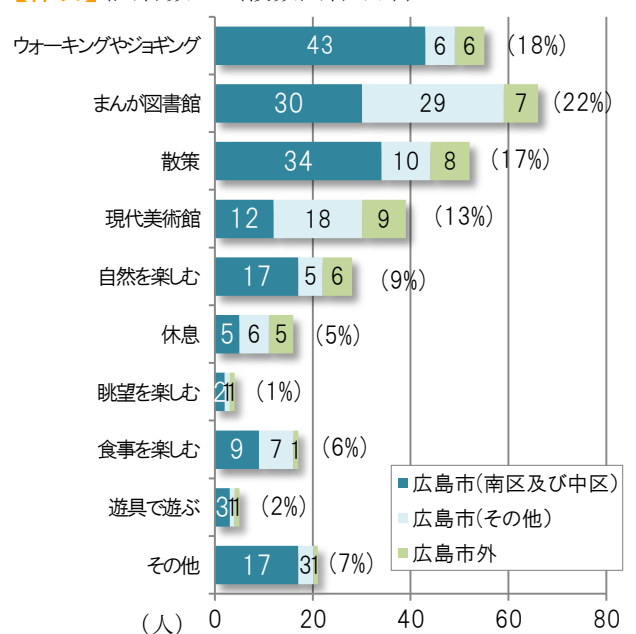
海外居住者に限ると、「現代美術館」の利用割合が最も高くなっているほか、「休息」、「散策」、「自然を楽しむ」が上位を占めており、癒しを目的とした利用の傾向が見られます。

居住地別の利用目的

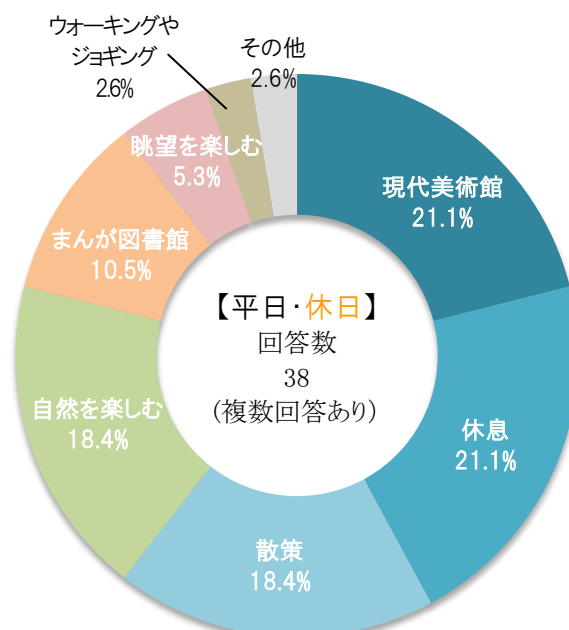
【平日】(回答数161(複数回答あり))



【休日】(回答数303(複数回答あり))



海外居住者の利用目的



6 イベントや活動の開催状況

比治山公園で実施されているイベントや活動としては、平成 28 年 3 月に段原地区町づくり協議会が開催した「第 1 回比治山桜咲けまつり」や、平成 28 年 10 月・11 月に段原ショッピングセンターが比治山公園ワークショップの参加者等と連携して開催した「はじめまして、比治山祭」を始め、自然環境をいかした野鳥観察会・自然観察会といった活動、歴史や文化を紹介する観光ガイドツアーなどが開催されていますが、開催回数が少なく、年間を通じて何らかのイベントや活動に参加できるとは言えない状況にあります。

イベントや活動の例

			
名称	比治山桜咲けまつり	名称	はじめまして、比治山祭
主催	段原地区町づくり協議会	主催	段原ショッピングセンター
頻度	年1回(予定)	頻度	不定期
			
名称	比治山おもしろウォーク 比治山の野鳥観察	名称	広島自然観察会 比治山
主催	段原公民館	主催	広島自然観察会
頻度	不定期	頻度	不定期
			
名称	広島とりっ歩 比治山散策コース	名称	今を生きる被爆建物を巡る学習会
主催	観光アシスタントひろしま	主催	広島市(協力:アーキワーク広島)
頻度	2 か月に1回	頻度	—

多くの市民や観光客が利用する広島駅からは、路面電車や路線バスによりアクセスできるほか、紙屋町・八丁堀地区からは、路線バスによりアクセスできます。

また、平成25年4月から、都心を循環する広島観光ループバス「めいぶるーぶ」の運行が開始され、比治山公園内の現代美術館やまんが図書館への交通アクセスが飛躍的に向上するとともに、平和記念公園や広島県立美術館といった主要な施設との回遊性も向上しました。

さらに、比治山公園には、主要な交通結節点や観光施設などで貸出・返却ができる観光レンタサイクル「ぴーすくる」の貸出・返却施設が整備されており、デルタ市街地を回遊しながら比治山公園を訪れることができます。

また、現在、路面電車を循環ルート化させる計画が進んでおり、紙屋町・八丁堀や平和記念公園等との更なる回遊性の向上が期待されます。

そのほか、小型ボートによる水上交通として、広島市内の河川に多く残る階段状の船着き場である雁木を利用して乗降できる雁木タクシーがあり、比治山公園の付近にも雁木があります。

「平和の道」は、平和記念公園、平和大通り及びその一帯に存在する施設に観光客を誘引し、ヒロシマの心を世界に広める一助とするため、広島駅と平和記念公園をつなぐ観光ルートとして、昭和 53 年に選定されました。このルートは、京橋川左岸の河岸緑地と平和大通りの緑地空間を経由するとともに、その沿線には、比治山公園を始め、京橋川オープンカフェなどの観光資源もあります。

凡例

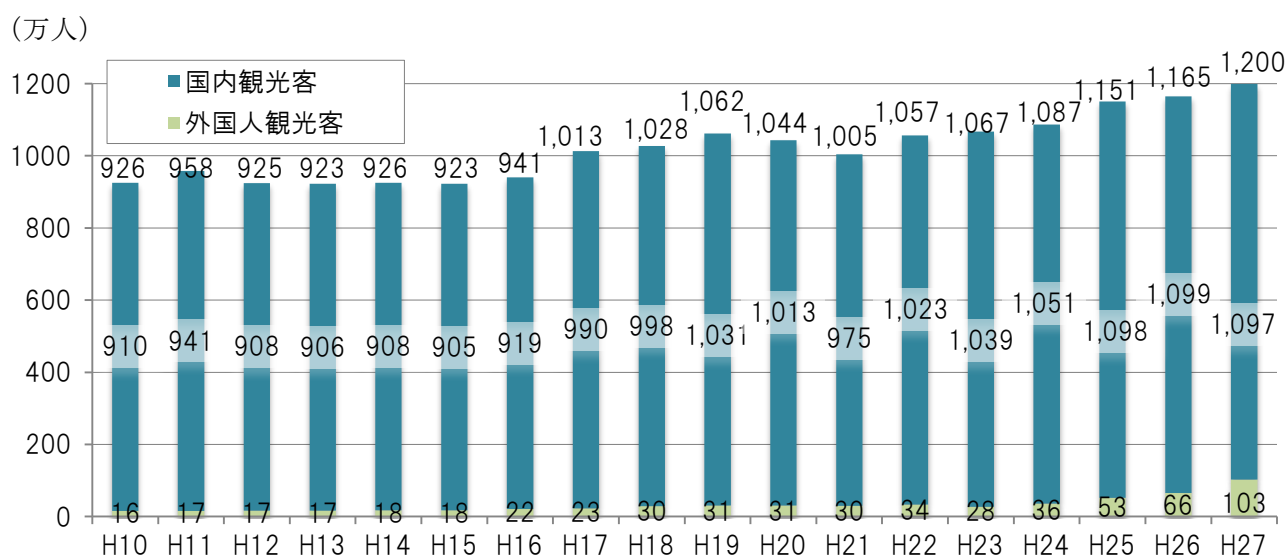
- ひろしま観光ループバス (めいぶるーぷ)
- 路面電車
- バス
- 平和の道
- 広島市観光レンタサイクル (ぴーすくる) 貸出・返却施設
- 比治山公園付近の雁木

第3章 比治山公園に求められる役割・ニーズ

1 観光動向

本市を訪れる観光客数は、平成 17 年以降、1,000 万人以上を維持しており、平成 27 年度には、約 1,200 万人に達し、5 年連続して過去最高を更新しました。その中でも、外国人観光客は、平成 25 年度には対前年比 47% 増、平成 26 年度には対前年比 25% 増、平成 27 年度には対前年比 56% 増と大幅に増加し、過去最高を更新しています。

来広観光客数の推移



(出典:平成 28 年版広島市観光概況)

(1) 国内観光客の動向とニーズ

平成 27 年度に実施した広島市来訪観光客アンケートによると、平和記念公園・平和記念資料館を除き最も立ち寄られている場所は原爆ドームであり、そのほか、広島城や世界平和記念聖堂、広島駅周辺、本通・八丁堀周辺等も立ち寄られています。こうした中、比治山公園は、平和記念公園を除く公園の中では最も立ち寄られています。現代美術館やまんが図書館と合わせても、他の場所に比べ、立ち寄られる割合は低い状況にあります。

また、「今後、広島に期待すること」として、「広島独特の味を楽しみたい(第 1 位)」、「見るだけでなく体験できる施設がほしい(第 2 位)」、「温泉施設を充実してほしい(第 3 位)」といった意見が上位を占めるほか、「親子で楽しめる施設がほしい(第 6 位)」、「美術館・博物館等の文化施設を充実してほしい(第 8 位)」といった意見が寄せられています。

: 訪問率の高い場所
 : 比治山公園関係

市内での立寄場所(選択式・複数回答あり) 単位: %

区 分	名 称 及 び	訪 問 率
(見る・体験する)	歴 史 ・ 文 化	原 爆 ド ー ム 94.02
		広 島 城 18.75
		世界平和記念聖堂 18.57
	公 園	比 治 山 公 園 0.77
		安 佐 動 物 公 園 0.70
	資 料 館	原爆死没者追悼平和祈念館 9.84
		郷 土 資 料 館 0.63
		こども文化科学館 0.52
		ガ ラ ス の 里 0.52
		江 波 山 気 象 館 0.24
	美 術 館	ひろしま美術館 2.43
		県 立 美 術 館 2.05
	産 業 観 光	マツダミュージアム 2.96
		そ の 他 2.09
(楽しむ・リフレッシュする)	ス ポ ー ツ	MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島 9.63
		コカコーラウエスト広島スタジアム 1.32
		エディオンスタジアム広島 0.90
		そ の 他 0.49
	レクリエーション	瀬戸内海クルージング 0.70
		ハ イ キ ン グ 0.56
		湯 来 湯 の 山 温 泉 0.52
	ショッピング・飲食店	広 島 駅 周 辺 21.81
		本 通 ・ 八 丁 堀 周 辺 19.90
		お好み村・お好み共和 12.35
		国ひろしま村
(触れ合う)	コンベンション・その他	紙 屋 町 周 辺 6.33
		紙屋町地下街(シャレオ) 5.98
		広 島 国 際 会 議 場 6.12
		アステールプラザ 1.22
		広島市文化交流会館 0.63
		映 画 館 0.38
		上 野 学 園 ホール 0.28
		広 島 サ ン プ ラ ザ 0.10

(出典:平成 28 年版広島市観光概況)

: 本文で紹介した項目

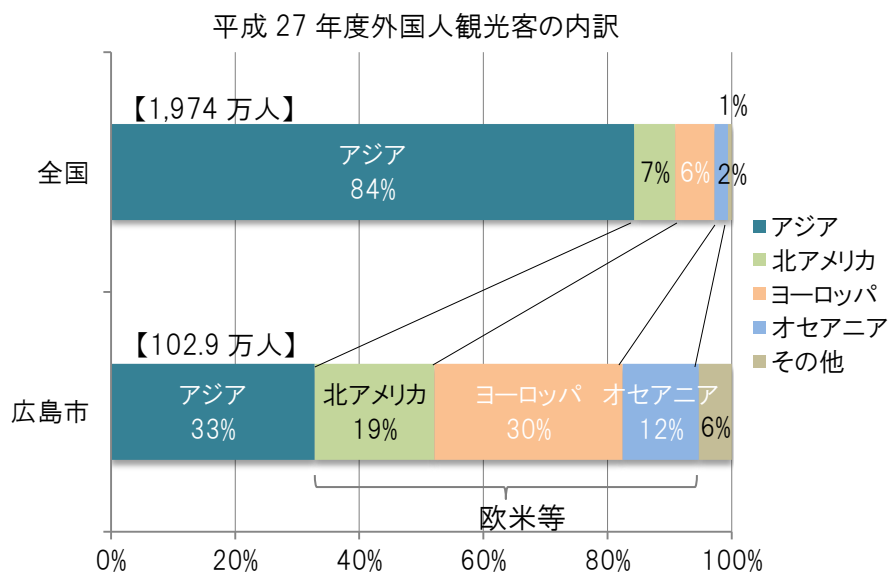
今後、広島に期待すること(選択式・複数回答あり) 単位: %

順位	内 容	平成 27 年度	平成 26 年度
1	広島独特の味を楽しみたい	16.83	17.00
2	見るだけでなく体験できる施設がほしい	12.31	12.72
3	温泉施設を充実してほしい	10.75	10.85
4	レンタサイクルを利用したい	10.16	9.14
5	特色ある観光土産と土産物ショップがほしい	10.05	9.74
6	親子で楽しめる施設がほしい	9.53	10.35
7	商店街の営業時間を長くしてほしい	9.01	10.21
8	美術館・博物館等の文化施設を充実してほしい	7.10	6.65
9	観光施設間の交通の便をよくしてほしい	6.99	6.98
10	観光案内の標識を充実してほしい	6.05	6.68
11	ナイトスポットがほしい	6.02	6.27
12	大規模なイベント(展示会・催し物)をしてほしい	5.36	6.07
13	マリレジャーを充実してほしい	3.48	4.03
14	歌舞伎・オペラ・寄席・ライブ等が楽しめるようにしてほしい	2.82	3.26
15	大規模な会議・コンベンション施設がほしい	0.83	0.72
16	そ の 他	4.77	3.78

(出典:平成 28 年版広島市観光概況)

(2) 外国人観光客の動向とニーズ

外国人観光客の内訳として、全国ではアジアからの観光客が約 8 割を占める一方で、広島市では、ヨーロッパが 30%、北アメリカが 19%、オセアニアが 12%となっており、欧米等が約 6 割を占めています。



また、平成 27 年度に実施した広島市来訪観光客アンケートによると、平和記念公園、平和記念資料館及び原爆ドームを除く市内での立ち寄り場所として、広島城や世界平和記念聖堂、縮景園が上位を占めるほか、市内にある三つの美術館も上位に挙がっています。

市内での立ち寄り場所

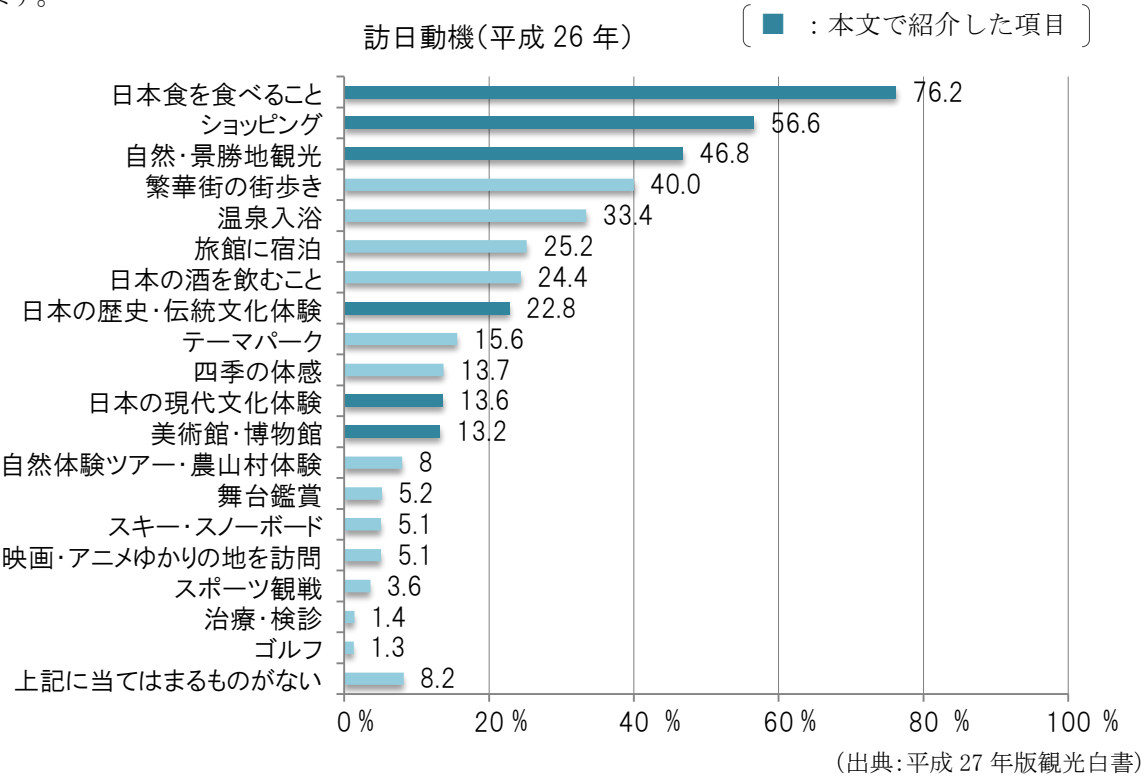
（単位：％）

■ 訪問率の高い場所
■ 美術館

順位	名 称	訪問率
1	広島城	42.98
2	世界平和記念聖堂	39.24
3	縮景園	17.77
4	広島県立美術館	6.82
5	ひろしま美術館	6.78
6	三瀧寺	6.20
7	現代美術館	6.12
8	河川遊覧船	5.54
9	植物公園	4.58
10	お好み村・お好み共和国	4.09
11	森林公園	3.17
12	こども文化科学館	3.12
13	マツダミュージアム	3.04
14	不動院	2.02
15	瀬戸内海クルージング	1.19
16	安佐動物公園	0.92

（出典：平成 28 年版広島市観光概況）

そのほか、外国人観光客の訪日動機としては、平成 27 年版観光白書における調査によると、「日本食を食べること(第 1 位)」、「ショッピング(第 2 位)」、「自然・景勝地観光(第 3 位)」が上位を占めるほか、「日本の歴史・伝統文化体験(第 8 位)」、「日本の現代文化体験(第 11 位)」、「美術館・博物館(第 12 位)」も挙がっています。また、国・地域別では、多くの欧米等の外国人観光客が「日本の歴史・伝統文化体験」を訪日動機として挙げています。



国・地域別の訪日動機(平成 26 年) [■ : 欧米等]
単位: %

日本食を食べること		ショッピング		自然・景勝地観光		日本の歴史・伝統文化体験	
タイ	83.9	タイ	74.1	台湾	55.1	フランス	46.3
フランス	83.4	香港	69.6	香港	53.1	米国	43.7
シンガポール	82.9	中国	68.0	中国	52.7	カナダ	43.0
カナダ	80.2	台湾	66.9	オーストラリア	52.3	オーストラリア	41.0
香港	79.8	シンガポール	59.1	ベトナム	50.9	ロシア	39.8
ベトナム	79.7	ベトナム	58.2	タイ	50.5	英国	37.8
米国	78.8	マレーシア	57.5	米国	48.8	ベトナム	33.4
オーストラリア	78.5	フィリピン	51.9	カナダ	48.7	ドイツ	31.6
ドイツ	77.4	インドネシア	50.0	シンガポール	48.7	インドネシア	30.4
英国	76.8	オーストラリア	47.1	フランス	48.3	タイ	27.9
ロシア	76.6	ロシア	46.5	英国	44.8	フィリピン	26.8
台湾	76.2	カナダ	46.1	マレーシア	44.1	インド	26.4
インドネシア	75.5	インド	44.8	インドネシア	43.6	シンガポール	25.0
フィリピン	74.9	韓国	44.3	フィリピン	43.0	マレーシア	24.2
韓国	73.8	フランス	42.5	ロシア	38.2	台湾	20.6
マレーシア	72.7	米国	39.0	ドイツ	36.0	中国	16.2
中国	72.6	英国	37.6	インド	34.3	香港	14.2
インド	56.2	ドイツ	30.7	韓国	28.9	韓国	12.2
その他	79.4	その他	41.3	その他	52.0	その他	38.9

(出典:平成 27 年版観光白書)

2 余暇活動の動向

レジャー白書 2016 における余暇活動に参加した種目に関する調査によると、「国内観光旅行(第1位)」、「外食(第2位)」、「ドライブ(第3位)」といった項目が上位に挙がっています。そのほか、比治山公園の資源をいかせる種目としては、「読書(第4位)」、「音楽会、コンサートなど(第16位)」や「催し物、博覧会(第32位)」、「美術鑑賞(第37位)」といった文化的活動、「ウォーキング(第9位)」、「ジョギング、マラソン(第19位)」、「体操(第21位)」、「バーベキュー(第22位)」、「ペット(第25位)」、「ピクニック、ハイキング、野外散歩(第28位)」といった健康づくりやアウトドアに関連する種目が挙がっています。

余暇活動の参加人口上位 40 位(平成 27 年) [■ : 本文で紹介した項目]

順位	余暇活動種目	万人
1	国内観光旅行(避暑、避寒、温泉など)	5,500
2	外食(日常的なものは除く)	4,390
3	ドライブ	4,340
4	読書(仕事、勉強などを除く娯楽としての)	4,230
5	映画(テレビは除く)	3,660
6	複合ショッピングセンター、アウトレットモール	3,620
7	動物園、植物園、水族館、博物館	3,460
8	音楽鑑賞(配信、CD、レコード、テープ、FM など)	3,340
9	ウォーキング	3,290
10	カラオケ	3,160
11	宝くじ	3,050
12	ウィンドウショッピング(見て歩きなど娯楽としての)	2,930
13	温浴施設(健康ランド、クアハウス、スーパー銭湯など)	2,880
14	ビデオの観賞(レンタルを含む)	2,860
15	園芸、庭いじり	2,670
16	音楽会、コンサートなど	2,430
17	SNS、ツイッターなどのデジタルコミュニケーション	2,330
18	トランプ、オセロ、カルタ、花札など	2,300
19	ジョギング、マラソン	2,190
20	テレビゲーム(家庭での)	2,170
21	体操(器具を使わないもの)	2,150
22	遊園地	2,110
	バーベキュー	
24	帰省旅行	1,970
25	ペット(遊ぶ・世話する)	1,950
26	バー、スナック、パブ、飲み屋	1,870
27	ファッション(楽しみとしての)	1,810
28	ピクニック、ハイキング、野外散歩	1,800
29	学習、調べ物	1,610
30	写真の制作	1,590
31	トレーニング	1,580
32	催し物、博覧会	1,550
33	料理(日常的なものは除く)	1,530
34	スポーツ観戦(テレビは除く)	1,520
35	ソーシャルゲームなどのオンラインゲーム	1,500
36	ゲームセンター、ゲームコーナー	1,480
37	美術鑑賞(テレビは除く)	1,320
38	編み物、織物、手芸	1,250
39	ボウリング	1,190
40	海外旅行	1,170

(出典:レジャー白書 2016)

同白書における余暇活動の潜在需要※に関する調査によると、比治山公園の資源をいかせる項目としては、男性は「バーベキュー(第4位)」や「オートキャンプ(第6位)」、「ピクニック、ハイキング、野外散歩(第7位)」に対する潜在需要※があり、女性は「ピクニック、ハイキング、野外散歩(第8位)」や「催し物、博覧会(第9位)」に対する潜在需要※があります。

※ 潜在需要:この調査における潜在需要とは、参加を希望する種目の参加率から実際に参加した種目の参加率の差を取ったものであり、実現していないが将来参加してみたいという願望を表すものである。

余暇活動の潜在需要※(希望率-参加率)上位10種目(平成27年) [■:本文で紹介した項目]

性別	回答数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
男性	1,654	海外旅行 24.2%	国内観光旅行 (避暑、避寒、 温泉など) 13.9%	クルージング (客船による) 11.7%	バーベキュー 10.5%	温浴施設 (健康ランド、ク アハウス、スー パー銭湯など) 9.7%	オートキャンプ 9.1%	ピクニック、 ハイキング、 野外散歩 8.1%	登山 7.2%	観劇 (テレビは除く) 6.3%	海水浴 5.9%
女性	1,721	海外旅行 29.0%	国内観光旅行 (避暑、避寒、 温泉など) 19.7%	温浴施設 (健康ランド、ク アハウス、スー パー銭湯など) 14.0%	クルージング (客船による) 12.9%	ヨガ、 ピラティス 12.6%	エステティック、 ホームエステ 11.3%	遊園地 10.9%	ピクニック、 ハイキング、 野外散歩 10.5%	催し物、 博覧会 10.3%	観劇 (テレビは除く) 10.1%
全体	3,375	海外旅行 26.6%	国内観光旅行 (避暑、避寒、 温泉など) 16.8%	クルージング (客船による) 12.3%	温浴施設 (健康ランド、ク アハウス、スー パー銭湯など) 11.9%	バーベキュー 9.8%	ピクニック、 ハイキング、 野外散歩 9.4%	観劇 (テレビは除く) 8.2%	催し物、 博覧会 8.1%	ヨガ、 ピラティス 7.8%	オートキャンプ 7.7%

(出典:レジャー白書2016)

3 比治山公園に対するニーズ

(1) 比治山公園「平和の丘」構想の実現に向けたアイデア等の募集結果

平成 27 年 7 月に比治山公園「平和の丘」構想を策定した後、この構想の実現に向けて、比治山公園でどのように過ごしたいか、どのような施設を期待するか、どうすればより魅力的な公園になるかなどのアイデアや意見を募集しました。その結果は以下のとおりです。

募集期間	平成 27 年 8 月 24 日(月)から平成 27 年 9 月 30 日(水)
応募者数	67 人(アイデア等の総数 201 件)

比治山公園「平和の丘」構想の実現に向けたアイデア等

(記載した個別のアイデア等は、要約して整理したものです。)

全般に関すること	29 件
① 全般	13 件
・ 広島未来創造をテーマに、建築、ファッション、アニメ、映画、美術、工芸等の創作拠点、平和発信拠点のアトリエ村としてはどうか。	
・ 核兵器は絶対にダメ、戦争はしてはいけないということを市民レベルでしっかり感じ、訴える場所にしてみたい。	
・ 肢体不自由者への対応を充実させてほしい。	
② 再整備に賛成する意見	6 件
・ 県外の友人が遊びに来れば胸を張って紹介できるよう、ぜひ比治山が素晴らしい公園になるよう期待している。	
③ 緑地の保全に関することや再整備に反対する意見	10 件
・ 比治山公園で子どもとイチゴやシイの実を探して遊んでいる。自然と触れ合う貴重な場所をそのまま残してほしい。	
再整備の内容に関すること	141 件
④ 園路に関すること	16 件
・ 車椅子もベビーカーも通しやすいように整備してほしい。	
・ 遊歩道の街灯を整備してほしい。交番側の登り口が薄暗く、気持ち悪い。	
・ ランニングコースの整備、付属施設の充実を期待する。	
⑤ カフェ、レストランの整備(誘致)に関すること	14 件
・ 子どもを遊ばせつつ休憩できるようなカフェや、現代美術館に行く目的に加え、お茶ができるようなカフェスペースがあると良い。わざわざ訪れたいような有名レストランを誘致する。	
・ こうしたカフェやレストランは、新たに建設するのではなく、既存の施設や跡地を利用し、魅力的な場所に再整備する。	
⑥ まんが図書館に関すること	13 件
・ 閲覧スペースの拡大や書架の拡充、御便殿広場を魅力的な読書スペースにする。	
・ まんが原画展や音楽会といったイベントを実施する。	
⑦ 眺望の確保、樹木の剪定等に関すること	11 件
・ 伐採や手入れがされておらず展望できない。市街地を展望できるよう樹木を剪定する。	
・ 樹木が生い茂り、薄暗くて一人では歩けないところがあるので、一人で行くのが怖い。	
⑧ 遊具に関すること	10 件
・ 通常の遊具に加え、芸術性の高い遊具、アスレチック、ボルダリング等を設置する。	
・ 自然の中で遊び学べるプレイパーク方式で整備する。	
⑨ 平和に関連する施設等の整備に関すること	9 件
・ 「平和へのメッセージ」碑の設置は、世界に向けて平和希求の思いを発信する取組として、大変効果的である。	
・ イサム・ノグチの原爆死没者慰霊碑などの平和に関連する施設を設置する。	
・ 原爆に関する文学作品や絵画、平和をテーマにしたイラストや漫画を展示する施設を整備する。	

⑩ 展望施設の整備に関すること	8 件
・ 放射線影響研究所敷地のような標高の高い場所に展望施設を整備する。	
・ ホテルを併設した展望施設や、モニュメント型の展望施設を整備する。	
⑪ 現代美術館に関すること	6 件
・ 一般市民には興味を引かない内容が多いので、もっと市民が行きたくなるようなものにしてほしい。	
・ 現代美術館と比治山公園とが一体となって親しみやすい場所になるよう、美術館の運営を改善する。	
・ 芸術に興味のある人の交流の場、広島のアートの発信地となる施設にする。	
⑫ 案内板の整備に関すること	6 件
・ 外国人に道をよく聞かれる。看板が分かりにくいと思う。環境を壊さない美しい看板を期待する。	
⑬ 芸術作品の設置に関すること	5 件
・ 学生や若手芸術家などの定期的な作品発表の場になれば良い。	
・ 公園全体に彫刻・モニュメントを配置し、散策・ジョギングコースを設定してはどうか。	
⑭ 放射線影響研究所敷地の活用に関すること	4 件
・ 展望施設や大学関連の施設、研究所、音楽ホール、宿泊施設、芸術家の滞在・創作場所（アーティスト・イン・レジデンス）、カフェ、レストランを整備・誘致する。	
⑮ 駐車場に関すること	4 件
・ 各施設と駐車場とが離れていて不便である。	
・ 広場を駐車場として、分散した駐車場を集約させる。	
⑯ 陸軍墓地に関すること	3 件
・ いろいろと考えさせられる場所なので、もっと広く周知すべきである。	
⑰ 桜の樹勢回復に関すること	3 件
・ 樹木が弱っており、保護・整備してほしい。	
⑱ その他	29 件
(ハード)	
・ コンベンションホール、日本の文化を学び体験できる施設、催事ができる小ステージ、コインロッカー、wi-fi スポット、ファブラボ(工房)を併設したカフェ、しゃれたベンチ、デザイン性のある便所、ドッグラン、ゴーカートや電動三輪車、紅葉等の植栽、図書館、うさぎ小屋、マンホールシャワーの整備	
(ソフト)	
・ 歴史を感じられる戦前や戦後直後の写真等の展示、オリエンテーリングポイントの設定、植生図の作成	
⑲ イベントの開催等に関すること	10 件
・ 自然をいかしたアクティビティプログラムの運営、学生や若手アーティストが作品を展示・販売するといったアートをテーマにしたイベント、オープンカフェやマルシェなどの飲食を中心としたイベント及び野外コンサートやコスプレイベントなどのパフォーマンスイベントの実施、広島駅や平和記念公園と比治山公園とを結び、回遊性を生むイベントの実施。	
⑳ 日常的な維持管理等に関すること	9 件
・ 便所があまりきれいではない。	
・ カラスが多く雰囲気良くない。	
㉑ 猫に関すること	9 件
・ 野良猫が多いため、去勢・避妊手術等の対策を行う。	
・ 野良猫を保護する施設を整備する。	
㉒ 交通アクセスに関すること	3 件
・ 路面電車の環状ルート化など、交通利便性を高める。	
・ 公園内の高低差を軽減する。	
合 計	201 件

(2) 市民意識調査の結果(平成 25 年度)

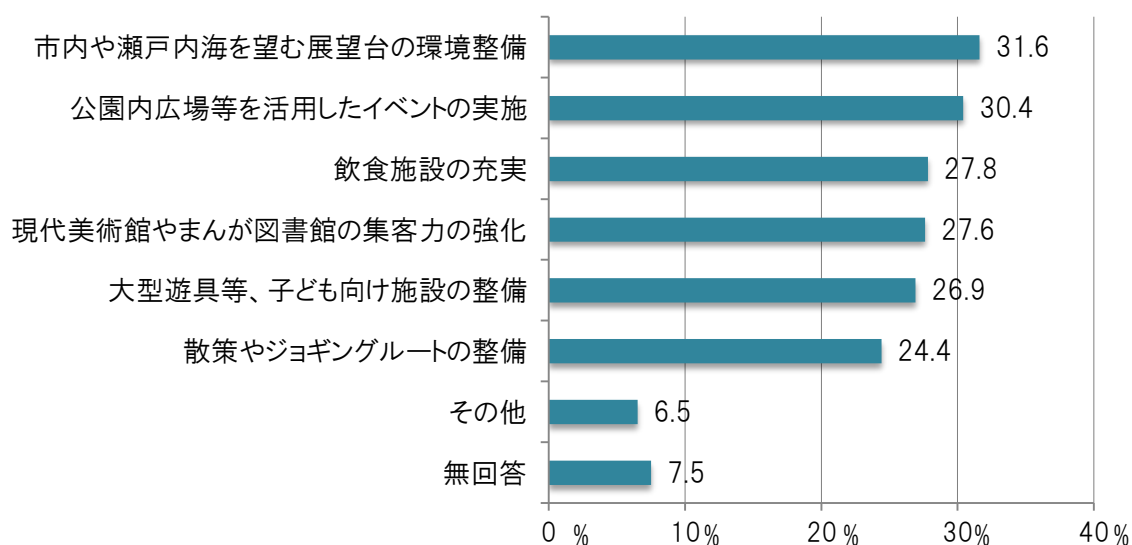
平成 25 年度に実施した市民意識調査の中で、比治山公園について、より一層魅力を高め、多くの市民や観光客に利用されるようにするためには、どのようなことに重点的に取り組んだら良いか尋ねました。その結果は以下のとおりです。

(市民意識調査)

- ・ 調査対象 : 平成 25 年 11 月 30 日現在広島市に在住する男女(18 歳以上)
- ・ 標本数 : 5,000 人(広島市住民基本台帳より無作為抽出)
- ・ 調査方法 : 郵送調査
- ・ 調査期間 : 平成 26 年 1 月 27 日(月)から 2 月 27 日(木)まで
- ・ 有効回収数 : 2,139 件(有効回収率 42.8%)

広島市では、昭和 55 年の政令指定都市移行を記念して、「比治山芸術公園基本計画」を策定し、現代美術館やまんが図書館などの整備を進めてきました。こうした取組の成果を生かして、今後、より一層比治山公園の魅力を高め、多くの市民や観光客に利用されるようにするためには、どのようなことに重点的に取り組んだらよいと思いますか。(2 つまで選択)

比治山公園に対する重点的な取組事項(2 つまで選択)



また、「その他」と回答された方からいただいた自由意見(130 件)のうち主なものは以下のとおりです。

- ・ まんが図書館の開館時間を早くする
- ・ 駐車場の整備・拡大
- ・ 無料送迎バスの導入
- ・ 外灯を整備し、夜景などを楽しめるようにする
- ・ 交通案内の充実
- ・ 交通アクセスの利便性向上

(3) 利用者へのヒアリング調査の結果

平成 28 年 5 月の平日・休日の 2 日間、比治山公園利用者 306 人に対するヒアリング調査を実施した結果、公園を利用した感想や公園に期待することについて、152 人から延べ 188 件の回答をいただきました。その結果は以下のとおりです。

比治山公園を利用した感想及び比治山公園に期待すること

全般に関すること	23 件
① 肯定的な意見	20 件
・ きれいで静かで、落ち着く。(8) ・ 楽しく利用している。このままで良い。(8) ・ ラジオ体操、ジョギング、ウォーキング、バーベキュー、ピクニック等の様々な目的で利用できる。(2) ・ 自然が美しく、日陰が多くて良い。(2)	
② 再整備に期待する意見	3 件
・ 公園をきれいに整備してほしい。(2) ・ 観光客を増やすために、施設を大きくした方が良い。(1)	
特定項目に関すること	139 件
③ 自然環境に関すること	28 件
・ うっそうとして茂り過ぎた樹木や枯れ木の管理、落葉や小枝の清掃をしてほしい。(11) ・ 自然が美しく、気分爽快で、散歩をしても気持ちが良い。バードウォッチングも楽しめる。桜やピクニック広場も好きである。(7) ・ 開発をせずに自然を残して欲しい。緑を減らさないでほしい。(4) ・ 古い桜の手入れや管理が必要である。(4) ・ いろいろな花が楽しめる、木陰を増やす等、もっと自然が生きた形になると良い。(2)	
④ 駐車場に関すること	24 件
・ 駐車場が少ない、増やす等、整備してほしい。特に美術館のイベントや桜の時期は混雑し不足している。(14) ・ 駐車場が遠い。(4) ・ 駐車場が分かりにくい。(2) ・ 駐車場の階段部にエスカレーターがほしい。坂道が年配にはきつい。(2) ・ 無料の駐車場であり、使いやすい。(1) ・ 駐車場が使える時間を長くしてほしい。(1)	
⑤ 園路に関すること	15 件
・ 安心してゆったりできるよう、車をあまり入れない、バスが通る場所や車が通る場所等は道幅を広くする等、園路の安全対策が必要である。(6) ・ 車が通らない場所は安全で良いが、車のスピードが速いこと、カーブミラーが見えにくい等の危険もある。(3) ・ ベビーカー用のスロープを設ける等、バリアフリー化してほしい。(2) ・ スカイウォークは、段原ショッピングセンターからのアクセスも良く、存続してほしい。(2) ・ スカイウォークの電気代の節約など上手く維持してほしい。(1) ・ スカイウォークのエスカレーターが急勾配なので危険である。(1)	
⑥ 公衆衛生に関すること	16 件
・ ごみが多い、ゴミ箱が汚い。古木の片付けをしてほしい。(7) ・ 便所、手洗い場が汚い。きれいに清掃してほしい。(6) ・ 清掃が行き届いている。(2) ・ 手を洗える水道がほしい。(1)	
⑦ 景観に関すること	10 件
・ 木が大きくなり過ぎて景色が見えない。手入れをしてほしい。(8) ・ 市街地を望める。景色がきれい。(2)	

⑧ 現代美術館に関すること	9 件
・ 素敵な美術館であり、楽しめた。(3) ・ 展示内容の魅力付け、企画展の頻度を増やす。(3) ・ 美術館と公園が一体となって現代美術を楽しめる環境整備や屋外展示を増やす。(2) ・ 桜の時期に美術館の便所が利用されて不足する。(1)	
⑨ 遊具に関すること	8 件
・ 遊具が不足している、増やしてほしい。(5) ・ 遊具が分かりやすい場所や広場にあると良い。(2) ・ 子どもが安全に遊べる対策、子どもにも使いやすい便所があると良い。(1)	
⑩ 防犯に関すること	7 件
・ 外灯が切れていたり、木が覆い夜が暗い。治安が悪い場所もあり改善してほしい。(6) ・ 防犯カメラを付けてほしい。(1)	
⑪ まんが図書館に関すること	4 件
・ よく利用している、面白かった。(2) ・ 本を整理してほしい。(1) ・ 漫画を増やしてほしい。(1)	
⑫ 案内板に関すること	5 件
・ 施設や広場の場所が分かりにくい。案内板の意味が分かりにくい。(5)	
⑬ 売店・軽飲食店に関すること	4 件
・ 売店が古く、汚い。きれいになると良い。(3) ・ 軽飲食店が営業していれば良かった。(1)	
⑭ 交通アクセスに関すること	4 件
・ バスの利用が分かりにくい。自転車で楽に来れると良い。(2) ・ バスがあり便利である。(1) ・ 公園に来るまでの交通手段を改善してほしい。(1)	
⑮ 新たな施設整備に関すること	3 件
・ 展望台へのベンチを増設してほしい。(1) ・ ドッグランがあると良い。(1) ・ バラ園を整備してほしい。(1)	
⑯ 放射線影響研究所に関すること	2 件
・ 移転せずに残してほしい。取り壊すと今の自然が壊れる恐れがある。(1) ・ 移転してほしい。(1)	
公園の利用マナー等に関すること	26 件
⑰ カラス、犬、猫に関すること	21 件
・ 捨て猫、野良猫が多い。(5) ・ 犬や猫の餌やりはやめてほしい。その餌をカラスも食べている。(5) ・ 犬、猫の糞が多い。(5) ・ カラスが多く駆除してほしい。(4) ・ 犬の放し飼いをやめてほしい。(2)	
⑱ 利用マナーに関すること	5 件
・ 花見シーズンのマナーが悪い。(3) ・ 火を使うことはやめてほしい。(1) ・ BB弾で遊んでいて怖い。(1)	
合 計	188 件

(括弧内の数字は、類似回答の件数を示したものです。)

(4) 比治山公園ワークショップにおけるアイデア

平成 28 年 4 月から 6 月までの間、計 3 回にわたり、地元住民や比治山公園が活動の舞台になり得る市民活動団体を始め、比治山公園に関心のある方々に参加いただき、比治山公園での新たな楽しみ方や活動について考えるワークショップを実施しました。このワークショップでの話合いの中で考え出された比治山公園における活動や整備に関するアイデアは以下のとおりです。

比治山公園における活動や整備に関するアイデアの例

自然環境・眺望に関する事項	
活 動	■自然環境をいかした遊び * 子どもの身体を使った遊び(泥んこ遊び、そり滑り)、林の中での運動(富士見台展望台下緩傾斜林、林内ぶらんこ)、芝生で寝そべる(御便殿広場)
	■自然環境学習 * 動植物観察・採集、写生、植物(葉、実、枝等)を素材としたアートクラフト、工作・実験、植物銘板づくり、自然資源マップづくり、ツリーハウス・基地づくり、道具講習 * スタンプラリー、オリエンテーリング、自然体験ガイドツアー、探鳥会、自然観察ガイド(植物、どんぐり、新芽等案内)
整備等	■自然環境保全 * 清掃活動、森林づくり管理作業(間伐ほか)、森林保全組織の結成、市街地が展望できる森づくり(花木の森、低木の森)、間伐ゲーム・コンクール ■眺望 * 駐車場や展望台等からの平和大通りや市街地への眺望確保・撮影会
	* 大人の目のある安全なプレイパーク、展望施設、新たな眺望の場の整備(放射線影響研究所敷地、第二駐車場) * 桜(ソメイヨシノ、八重桜、カワザクラ)、もみじ等の現況調査・位置確認(比治山公園の四季の見所発信) * 通景伐採
歴史・文化に関する事項	
活 動	* 被爆建物・樹木巡り、園内各地に立地する記念碑や銅像を巡るツアーの開催 * 平和を考えるフィールドワーク(陸軍墓地・富士見台展望台で市街地を一望しながら) * 放射線影響研究所見学、歴史・文化資源マップづくり、写生大会(歴史的建築物等) * AR(Augmented Reality=拡張現実)技術の活用による歴史再現、プロジェクションマッピング
	* 頼山陽文徳殿の活用(被爆樹木や歴史に関する資料の展示、文学館として活用(頼山陽の墓、原爆文学: 峠三吉、栗原貞子)、頼山陽に関する資料(文献・写真)の展示、比治山の見所(歴史等)ガイド) * 解説板の設置
芸術・教育に関する事項	
活 動	* 現代美術館テラス等への作品展示、スカイウォーク終点広場等での触って遊ぶ彫刻体験、御便殿広場でのインスタレーション * 休止中の売店・軽飲食店を活用したものづくり体験、ガードレールアート、まんが図書館との連携したサブカルチャーイベント、子どもの創作体験(絵を描く、まんが図書館との連携)
観光・レクリエーションに関する事項	
活 動	* 頼山陽文徳殿等の見所ガイド、自動車モックアップ(実物大の模型)展示 * ウォーク(スタンプ)ラリー、AR(Augmented Reality=拡張現実)技術を使ったゲーム、乗り物(セグウェイ、人力車、トクトゥク)を使った回遊 * 野外ステージ演奏会(学校部活動・若者・一般のコンサート)、フリーマーケット、産直マーケットの開催、お茶・食事会、酒の仕込み水の試飲、オープンカフェ、アウトドア料理教室、お土産企画・製作、アウトドア用品試用
整備等	* 展望施設、ドッグラン、常設野外ステージ設置 * 眺めの良いレストラン、パーティールーム(結婚式場)、カフェ、集客施設の設置 * 四季を通じて楽しめる植栽整備、ライトアップ
健康づくりに関する事項	
活 動	* 瞑想、ヨガ、ウォーキング、体育祭 * ウォーキングコースの設定(距離、見所別)
整備等	* シャワー・着替え室の整備、段原ショッピングセンターと連携したシャワールームの整備

公園全体の利便性向上に関する事項	
整備等	* 便所の設置、ストリートファニチャー、分かりやすい案内標識の設置 * バリアフリーに対応した便所や駐車場の整備 * 見通しの良い明るい環境づくり、防犯設備(防犯カメラ、緊急通報ボタン)の設置
ソフト対応等	■案内・インフォメーション * スカイウォーク乗降口を公園の正面玄関に位置付け * 入口、園路への名称付け(樹木の名前を使う等)、案内マップの作成 ■広報・情報発信 * ホームページ、タウン情報誌、公共交通機関(電車、バス)への比治山公園のイベントや活動に関する案内 ■交通手段 * 公共交通機関(電車、バス)、スカイウォークの自転車利用、駐車場利用料金検討 ■防犯 * 人の目が行き届き、子どもだけで来園できる仕組みづくり
その他の事項	
活動	* 比治山公園に生息する猫の里親探し * マンホールトイレを活用した防災訓練



写真: 話し合いの様子



写真: フィールドウォッチングの様子

(5) オープンハウスの開催結果

(1)から(4)までの意見募集やワークショップ等でいただいたアイデアや意見を取りまとめ、地元住民やワークショップ参加者との意見交換を行うオープンハウスを実施しました。日常的な維持管理に関することや再整備に向けて配慮すべき点について意見等をいただいた一方、取りまとめた内容については一定の評価をいただきました。

オープンハウスの概要とその様子

第1回	平成 28 年 7 月 23 日(土)13 時～17 時 来場者数 6 名 (滞在時間 1 人平均約 1 時間)	
第 2 回	平成 28 年 7 月 30 日(土)13 時～18 時 来場者数 25 名 (滞在時間 1 人平均約 30 分)	

第4章 再整備に向けた方向性

本章では、「第1章 基本的事項」、「第2章 比治山公園を取り巻く現状」及び「第3章 比治山公園に求められる役割・ニーズ」を踏まえて、比治山公園が持つ資源を始め、にぎわい、園内の回遊、駐車場・交通アクセスといった分野ごとに再整備に向けた方向性を整理します。

1 平和・歴史

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 比治山公園は多くの観光客が訪れる平和記念公園から約 2 kmの距離に位置し、平和大通りを経由する「平和の道」や、主要な施設を巡る「めいぶる一歩」等により回遊することができます。
- ・ 陸軍墓地は、西南戦争から第二次世界大戦までの多数の日本人戦没者の遺骨が葬られているとともに、日清戦争、第一次世界大戦時等に広島で亡くなった中国人、フランス人、ドイツ人の墓もあります。また、似島を始め、瀬戸内海に浮かぶ島々を一望できる場所でもあります。
- ・ 頼山陽文徳殿は、原爆により、窓ガラスは割れ、瓦は吹き飛び、屋根の九輪は楕円に変形したものの火災は免れ、その姿を今にとどめており、変形した九輪は現在でも確認することができます。また、敷地内には、被爆樹木であるソメイヨシノが残っています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

観光動向

- ・ 外国人観光客の訪日動機としては、平成 27 年版観光白書における調査によると、「日本の歴史・伝統文化体験(第 8 位)」、「美術館・博物館(第 12 位)」が挙がっています。特に、広島市を訪れる外国人観光客の約 6 割を占める欧米等の外国人観光客の多くは、「日本の歴史・伝統文化体験」を訪日動機として挙げています。

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、「核兵器は絶対にダメ、戦争はしてはいけないということを市民レベルでしっかり感じ、訴える場所にしてみたい」という意見や、広島を訪れた世界の為政者や著名人の「平和へのメッセージ」を碑にして設置することに賛成する意見、陸軍墓地をもっと広く周知すべきという意見が寄せられています。
- ・ 活用のアイデアとして、頼山陽文徳殿を活用した被爆樹木や歴史に関する資料の展示、陸軍墓地やその他の視点場を活用した平和について考えるフィールドワークの実施等が挙がっています。
- ・ そのほか、歴史を感じられる戦前や戦後直後の写真等を展示してはどうかといった意見が寄せられています。

再整備に向けた方向性

- ① 平和記念公園から約 2 kmの距離に位置する立地特性や、陸軍墓地及び被爆建物である頼山陽文徳殿等によって、被爆の実相に触れることができる場所にするとともに、平和への思いを共有しつつ、戦争や平和について考えることができる場所にするのが求められます。
- ② 被爆建物や被爆樹木巡りなど、比治山公園の資源をいかした市民活動が広がっていくことが期待されます。

2 文化資源

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 現代美術館は、子どもから大人まで楽しめる参加型のワークショップや美術館のパブリックスペースを利用した展示など、バラエティ豊かなプログラムを提供しており、展覧会の観覧者数が伸び悩む中、これらの参加者数は増加傾向にあります。一方で、開館から27年が経過し建物や設備が老朽化して更新が必要な状況であり、また、バリアフリー化や案内表示の多言語化に対応できていない状況にあります。
- ・ まんが図書館は、漫画の閲覧・貸出、資料の展示や講座の開催などを行う一方で、蔵書の増加により書庫が不足し、1階ロビーを書庫スペースとしているため、ロビーを活用した展示や行事の開催に制約があります。また、緑陰読書を推進していますが、図書館前の広場の石段に屋根がないことや隣接する御便殿広場に木陰が少ないことなど、快適に読書ができる環境が整っていないため、利用は少ない状況にあります。
- ・ 現在の利用状況として、平成28年5月に実施した比治山公園の利用者に対するアンケート調査の結果によると、休日は、「まんが図書館」を目的とした利用者の割合が最も高く(22%)なっています。また、海外居住者に限ると、「現代美術館」の利用割合が最も高くなっています。

基本的事項(第1章)

- ・ 「広島市緑の基本計画」において、比治山公園は文化活動の拠点となる場所として、施設や機能を充実・強化することが示されています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

観光動向

(国内観光客)

- ・ 平成27年度に実施した広島市来訪観光客アンケートにおける「今後、広島に期待すること」によると、「見るだけでなく体験できる施設がほしい(第2位)」、「親子で楽しめる施設がほしい(第6位)」といった意見が上位を占めるほか、「美術館・博物館等の文化施設を充実してほしい(第8位)」といった意見が寄せられています。

(外国人観光客)

- ・ 平成27年版観光白書における外国人観光客の訪日動機調査によると、「日本の現代文化体験(第11位)」、「美術館・博物館(第12位)」が挙がっています。

余暇活動の動向

- ・ レジャー白書2016における余暇活動の参加人口調査によると、「読書(仕事、勉強などを除く娯楽としての読書)(第4位)」が上位に挙がっているほか、「美術鑑賞(テレビは除く)(第37位)」も挙がっています。

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、現代美術館に対し、芸術に興味のある人の交流の場、広島市の芸術の発信地となる施設にしてほしいといった意見や、美術館と公園が一体となって現代美術を楽しむ環境整備や屋外展示を増やしてはどうかといった意見が寄せられています。
- ・ まんが図書館に対し、閲覧スペースや書架の拡大、御便殿広場を魅力的な読書スペースにするといった意見が挙がっています。そのほか、まんが原画展や音楽会などのイベントを実施してはどうかといったアイデアが挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 国内外の観光客のニーズや国内の余暇活動に関する調査結果から、比治山公園が有する文化資源である現代美術館とまんが図書館は、より多くの人々を誘客できるポテンシャルを有していると言えます。これらの施設の機能を拡充し、より魅力を向上させることが求められます。
- ② 魅力の向上に当たり、現代美術館については、比治山公園と一体となった空間演出などにより気軽に現代美術に触れられる環境整備や、参加体験型のプログラムの充実とそのため環境整備が求められます。
- ③ 魅力の向上に当たり、まんが図書館については、書庫スペースを確保するほか、隣接する御便殿広場を活用した読書空間の魅力向上や、参加体験型のプログラムの充実とそのため環境整備が求められます。

3 自然環境

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 樹木が生い茂り、薄暗い園路が多くなっています。
- ・ 比治山公園の樹林の中には、美しい花の咲く植物や食べられる実のなる植物など、見て触れて楽しめる植物もあり、樹林内の散策や遊びを通じた子どもの自然体験といった活用も期待できます。一方、樹林内が薄暗くなりがちであり、防犯面の課題があります。
- ・ また、比治山公園は、古くから桜の名所として知られていますが、近年では樹勢が弱っている桜も多く見られます。
- ・ 比治山公園の外周は、平成 14 年に広島県が図上で行った調査によると、広範囲に急傾斜地崩壊危険箇所とされており、南側では、いくつかの箇所で土石流危険渓流とされています。これらの箇所を対象として、今後、広島県による現地調査が行われ、調査の結果によっては、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域及び特別警戒区域が定められます。
- ・ 現在の利用状況として、平成 28 年 5 月に実施した比治山公園の利用者に対するアンケート調査の結果によると、「散策」、「自然を楽しむ」、「休息」が上位に挙がっており、癒しを目的とした利用の傾向も見られます。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

観光動向

(国内観光客)

- ・ 平成 27 年度に実施した広島市来訪観光客アンケートにおける「今後、広島に期待すること」によると、「見るだけでなく体験できる施設がほしい(第 2 位)」、「親子で楽しめる施設がほしい(第 6 位)」といった意見が寄せられています。

余暇活動の動向

- ・ レジャー白書 2016 における余暇活動の参加人口調査によると、「バーベキュー(第 22 位)」、「ピクニック、ハイキング、野外散歩(第 28 位)」といったアウトドアに関する項目が挙がっています。また、同白書における余暇活動の潜在需要に関する調査によると、男性は「バーベキュー(第 4 位)」や「オートキャンプ(第 6 位)」、「ピクニック、ハイキング、野外散歩(第 7 位)」を上位に挙げており、女性も第 8 位に「ピクニック、ハイキング、野外散歩」を挙げています。

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、桜が弱っていることから保護・整備してほしいという意見が寄せられています。
- ・ 自然と触れ合う貴重な場所をそのまま残してほしいといった緑地の保全に関する意見や、樹木が生い茂り、薄暗くて一人では歩けないところがあるという意見が寄せられています。
- ・ 活用のアイデアとして、自然を活用した子どもの身体づくりや遊び、植物や野鳥の観察・ガイドが挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 都心の貴重な自然環境をいかし、子どもが遊びを通じて自然の中で創造的な体験ができるとともに、誰もが心の安らぎや癒しを感じられる場として活用することが期待されます。
- ② 今後とも桜の名所として、多くの人に親しまれるよう桜の植樹や樹勢回復が求められます。
- ③ 防犯対策も含め気持ち良く散策できるよう、地面まで光が差し込む明るい樹林環境へ転換することが求められます。
- ④ 比治山公園の外周は、広範囲に急傾斜地崩壊危険箇所等とされていることから、樹木の間伐等を行う場合は、法面保護の観点も視野に入れて実施する必要があります。

4 景観・眺望

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 比治山公園は、その標高をいかして、戦災復興のシンボルである平和大通りを始め、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並みや、似島を始め瀬戸内海に浮かぶ島々を眺望できる多くの視点場を有しています。一方で、樹木が生い茂り、眺望が確保できていない視点場も多くなっています。
- ・ 比治山公園は、平和大通りから東を見たときに多くの人々の視線が注がれる対象(アイ・ストップ)として、また、「水の都ひろしま」の象徴的な景観を構成する要素として、大きな役割を担っています。

基本的事項(第1章)

- ・ 「広島市緑の基本計画」における「緑の構想図」において、平和記念公園・平和大通り、河岸緑地など広島を代表する緑が集まっている地区について、これらの充実と民有地の緑化推進などにより、広島の平和を象徴する緑の都心空間を形成することとされています。
- ・ また、「広島市景観計画」において、比治山は、平和大通りから東を見たときに多くの人々の視線が注がれる対象(アイ・ストップ)であるとともに、比治山からは市街地を広く眺望できることから、その視点場としての特性を踏まえながら、市民や観光客に親しまれる景観づくりを進める地区と位置付けられています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、「伐採や手入れがされておらず、展望できない。市街地を展望できるような樹木を剪定してほしい」といった意見が多数寄せられています。また、展望施設の整備に関する意見も多く寄せられています。
- ・ 市民意識調査においても、重点的に取り組むべき事項として「市内や瀬戸内海を望む展望台の環境整備」が1番目に挙がっています。
- ・ そのほか、活用のアイデアとして、AR(拡張現実)技術の活用による歴史再現が挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 一望する街並みから平和を実感できる新たな拠点とするため、展望施設の整備とともに、眺望が確保できていない視点場における樹木の間伐・剪定が求められます。
- ② 戦前・戦後の古い写真が存在する場所については、復興した街並みと比較できる工夫も期待されます。
- ③ 本市の景観上重要な東西軸である平和大通りからのアイ・ストップとして、「水の都ひろしま」の象徴的な景観を構成する要素として、市民や観光客に親しまれる魅力的な景観を形成することが期待されます。

5 にぎわい

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 比治山公園は、都心に残る自然の山を活用した公園であるため、平坦な場所は尾根に集中しています。それらの多くは現代美術館や放射線影響研究所等の施設や駐車場として使用されているため、公園の魅力創出に新たに利用できる平坦な場所は少ない状況となっています。
- ・ 広い園内において、現代美術館内以外の売店・軽飲食店は、ほとんど営業しておらず、自動販売機による飲み物の販売にとどまっている状況にあります。
- ・ 比治山公園で実施されているイベントや活動としては、平成 28 年 3 月に段原地区町づくり協議会が開催した「第 1 回比治山桜咲けまつり」や、平成 28 年 10 月に段原ショッピングセンターが比治山公園ワークショップの参加者等と連携して開催した「はじめまして、比治山祭」を始め、自然環境をいかした野鳥観察会・自然観察会といった活動、歴史や文化を紹介する観光ガイドツアーなどが開催されていますが、開催回数が少なく、年間を通じて何らかのイベントや活動に参加できるとは言えない状況にあります。

基本的事項(第1章)

- ・ 広島市都市計画マスタープランにおいて、市の中心部に近く、豊かな緑と優れた眺望に恵まれた比治山公園について、既存の文化・芸術施設と連携を図りながら、より多くの人が訪れる場となるよう取り組むことが示されています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、子どもを遊ばせつつ休憩できるようなカフェや、わざわざ訪れたいくなるような有名レストラン、眺めの良いレストランなど、飲食施設の整備(誘致)を求める意見が多数寄せられています。また、その方法についても、既存の施設や跡地を利用し、魅力的な場所に再整備するといった意見が寄せられています。
- ・ 学生や若手アーティストが作品を展示・販売するといったアートをテーマにしたイベント、オープンカフェやマルシェなどの飲食を中心としたイベント、野外コンサートなどの開催を求める意見が寄せられています。
- ・ 市民意識調査においても、重点的に取り組むべき事項として「公園内広場等を活用したイベントの実施」が 2 番目に挙がっています。
- ・ また、活用のアイデアとして、野外ステージ演奏会(学校の部活動・若者・一般のコンサート)、フリーマーケット、産直マーケットの開催が挙がっています。
- ・ そのほか、子どもの遊び場として遊具の充実を求める意見が多数寄せられており、通常の遊具に加え、芸術性の高い遊具、アスレチック、ボルダリング等が挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 園内の複数箇所において飲食や休憩できる場所を確保することが求められます。
- ② 本市が早期移転に向けて働きかけている放射線影響研究所の職員宿舎である比治山ホールは、日本を代表する建築家の一人である前川國男氏により設計された建物です。研究所が移転する際には、建物や眺望をいかして、ニーズの高い飲食施設として活用することも考えられます。
- ③ 放射線影響研究所敷地については、本計画の対象区域内で最も大きな面積を確保できる広場であることから、様々なイベント等を開催できる多目的エリアとして活用することが考えられます。
- ④ 公園の魅力創出に新たに利用できる平坦な場所が少ないため、スカイウォークで接続する段原ショッピングセンターの駐車場の利用促進を図りつつ、駐車場の一部を公園の魅力創出のために利用転換することも考えられます。
- ⑤ 園内各所で、フリーマーケットやマルシェ、子どもの演奏会、落ち葉や小枝を使ったものづくり教室など、比治山公園の資源をいかした様々なイベントや活動が広がっていくことが期待されます。
- ⑥ 遊戯施設についても、現在の遊具広場を中心に充実させることが求められます。

6 園内の回遊

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 比治山公園には、自動車が行き可能な三つの園路のほか、歩行者専用の複数の園路があります。自動車が通行可能な園路には、歩道が整備されていない区間があり、散策やジョギングなどを行う公園利用者の安全確保に課題があります。また、高低差のある地形であるため、勾配の急な園路があります。
- ・ 第二・第三駐車場から現代美術館やまんが図書館までの間には、高低差や階段があり、誰もが移動しやすい環境が整っているとは言えない状況にあります。
- ・ 現在の利用状況として、平成 28 年 5 月に実施した比治山公園の利用者に対するアンケートの結果によると、国内居住者の利用目的としては、「ウォーキングやジョギング」が平日の第 1 位(29%)、休日の第 2 位(20%)に挙がっています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

余暇活動の動向

- ・ レジャー白書 2016における余暇活動の参加人口調査によると、「ウォーキング(第 9 位)」、「ジョギング、マラソン(第 19 位)」といった健康づくりに関する種目が挙がっています。

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、園路を車椅子もベビーカーも通りやすいように整備してほしいといった意見や街灯を整備してほしいといった意見、車を制限するなど園路の安全対策を求める意見、公園内の高低差を軽減してほしいといった意見が寄せられています。
- ・ そのほか、外国人に道をよく聞かれる、看板が分かりにくいと思うといった意見や、ランニングコースの整備や付属施設の充実を期待する意見が寄せられています。
- ・ 市民意識調査においても、重点的に取り組むべき事項として「散歩やジョギングルートの整備」が 6 番目に挙がっています。
- ・ また、活用のアイデアとして、園内各地に立地する記念碑や銅像を巡るツアーや、スタンプラリー、オリエンテーリングといったイベントの開催が挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 園内を安全に移動・回遊できるよう、自動車と歩行者を極力分離するとともに、高低差を軽減できるような工夫が求められます。
- ② 園内には、記念碑や彫刻など多様な施設があり、こうした施設との予期しない偶然の出会いも比治山公園を散策する魅力の一つであることから、園内の回遊を促すような仕掛けや施設配置が求められます。
- ③ 高低差を利用して、ウォーキングやランニングといった健康づくりを楽しめる環境整備が求められます。
- ④ 園内を快適に移動し、回遊できるよう、分かりやすい案内板の設置が求められています。

7 駐車場・交通アクセス

比治山公園を取り巻く現状(第2章)

- ・ 比治山公園には、計 115 台駐車できる三つの駐車場があり、平日・休日ともに比較的空きのある状況です。
- ・ 比治山公園内と公園に隣接する段原ショッピングセンターとはスカイウォークで接続しており、現代美術館やまんが図書館の利用者は、一定時間、無料で同ショッピングセンターの駐車場を利用することができる一方、スカイウォークの利用者は減少傾向にあり、同ショッピングセンターの駐車場からスカイウォークを利用して現代美術館等を訪れる人も少ない状況にあります。
- ・ 比治山公園へは、広島駅からは路面電車や路線バスにより、紙屋町・八丁堀地区からは路線バスによりアクセスできます。また、都心を循環する広島観光ループバス「めいぷる一ぷ」によりアクセスすることができます。さらに、比治山公園には、観光レンタサイクル「びーすくる」の貸出・返却施設が整備されています。
- ・ 平成 28 年 5 月に実施した利用者に対するアンケート調査によると、平日は、「徒歩」による来園が約半数を占める一方、休日は、「徒歩」「自家用車」による来園がそれぞれ約 4 割を占めています。また、平日・休日ともに、「バス」「路面電車」による来園は少ない状況にあります。
- ・ 比治山公園は、都心に残る自然の山を活用した公園であるため、平坦な場所は尾根に集中しています。これらの多くは現代美術館や放射線影響研究所等の施設や駐車場として使用されているため、公園の魅力創出に新たに利用できる平坦な場所は少ない状況となっています。

比治山公園に求められる役割・ニーズ(第3章)

観光動向

(国内観光客)

- ・ 平成 27 年度に実施した広島市来訪観光客アンケートにおける「今後、広島に期待すること」によると、「レンタサイクルを利用したい(第 4 位)」、「観光施設間の交通の便をよくしてほしい(第 9 位)」、「観光案内の標識を充実してほしい(第 10 位)」といった意見が寄せられています。

比治山公園に対するニーズ

- ・ 意見募集等を通じて、公園内の高低差を軽減してほしい、駐車場の階段にエスカレーターがほしいといった意見、スカイウォークは段原ショッピングセンターからのアクセスも良く、存続してほしいといった意見のほか、路面電車の環状ルート化など交通利便性を高めてほしいといった意見が寄せられています。
- ・ 市民意識調査における主な自由意見として、交通案内の充実や交通アクセスの利便性向上を求める意見が挙がっています。

再整備に向けた方向性

- ① 比治山公園全体として駐車場に空きがある一方で、公園の魅力創出に新たに利用できる平坦な場所が少ないため、スカイウォークで接続する段原ショッピングセンターの駐車場の利用促進を図りつつ、駐車場の一部を公園の魅力創出のために利用転換することも考えられます。
- ② バスや路面電車等により交通利便性が一定程度確保されている一方で、これらの利用者が少ないことから利用促進などに努める必要があります。

第5章 基本計画

1 基本計画の策定に当たって

比治山公園は、明治 36 年に本市で最初の公園として開設され、桜の名所として親しまれるとともに、明治 42 年には広島大本営の明治天皇の休憩所(御便殿。原爆により倒壊)が移設されたほか、様々な記念碑等が建立された歴史的な場所です。

また、世界中から多くの人々が訪れる平和記念公園から約 2 kmの距離に位置し、高次の都市機能が集積する都心にありながらも緑豊かな自然に触れられる希少な場所となっており、さらには、その標高をいかして、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並み等を一望できます。

戦後、昭和 27 年には都市計画法上の公園に位置付け、昭和 55 年には本市の政令指定都市移行を記念して「比治山芸術公園基本計画」を策定しました。現代美術館や青空図書館(現在のまんが図書館)といった文化施設や展望台広場などの整備は、この計画に基づいて進めてきました。

しかしながら、現在、この計画に基づく整備は進展していない状況にあり、自然や文化と触れ合うことができる身近な憩いの場、また、平和記念公園などを訪れた観光客が回遊できる観光スポットといった、比治山公園の持つポテンシャルが十分にいかされているとは言い難い状況にあります。比治山公園の歴史的価値や立地特性を踏まえるならば、公園を現状のままにしておくのではなく、そのポテンシャルをいかして「国際平和文化都市として復興した広島『今』を実感できる新たな拠点」として再整備する必要があります。

このため、被爆 70 周年の平成 27 年 7 月に、「比治山公園『平和の丘』構想」を新たに策定しました。本章の基本計画は、この構想に基づき、「比治山芸術公園基本計画」に替わるものとして取りまとめたものです。

この基本計画の実現に当たっては、計画の対象区域が約 29ha と広大なことから相当な時間を要することが見込まれるため、三つの期間に分けた上で整備を進めていきます。

まず、第Ⅰ期においては、主に行政が主体となって、歴史的・文化的な価値のある既存の施設の魅力に磨きをかける整備に取り組みます。次に、第Ⅱ期においては、民間事業者や市民等の知識や経験、資金を活用しながら、公園の新たな魅力を創出するための整備を進めます。そして、第Ⅲ期においては、放射線影響研究所の移転後の敷地を活用した新たな施設の整備に取り組みます。

このように、基本計画に基づく整備を着実に進め、多くの市民や観光客が訪れ、愛される比治山公園「平和の丘」を実現していきます。

2 コンセプトごとの整備内容と各施設の概ねの完成時期

コンセプトごとの整備内容

コンセプト

1 「都市に込められた平和への思い」を共有する場

比治山公園は、世界中から多くの人々が訪れる平和記念公園から約2kmの距離に位置し、園内とその隣接地には、陸軍墓地や戦没者の慰霊碑があります。また、被爆建物の頼山陽文徳殿や多聞院の鐘楼、被爆樹木のソメイヨシノやクスノキなどがあり、被爆の実相に触れられる場所です。

こうした特性をいかし、被爆の実相を伝える平和記念公園とともに、平和への思いを共有できる場所にします。

【整備内容】

- ・陸軍墓地
- ・展望施設等
- ・頼山陽文徳殿
- ・「平和へのメッセージ」を記す碑

コンセプト

2 「都市の美しさ・復興の力強さ」を実感する場

比治山公園は、「デルタ市街地」を流れる6本の川と水辺空間が織り成す「水の都ひろしま」の象徴的な景観を構成する要素として大きな役割を担うとともに、戦災復興のシンボルである平和大通りの東端に位置し、その標高をいかして、デルタの美しい街並みと緑あふれる平和大通りを望める場所です。

こうした特性をいかし、市民はもとより広島を訪れた観光客が、都市の美しさとともに、原子爆弾の惨禍から復興した都市の力強さを実感できる場所にします。

【整備内容】

- ・展望施設等

コンセプト

3 「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験する場

比治山公園は、本市の都心、「デルタ市街地」にありながら、緑豊かな自然環境に恵まれるとともに、現代美術館やまんが図書館といった文化施設のある場所です。

こうした特性をいかし、現代美術などの文化に親しむ楽しさや感動を味わえ、心地良い丘の中でゆっくりと穏やかな時間を過ごせ、子どもが遊びを通じて自然を体験できるなど、平和であるからこそ享受できる都市に息づく文化や自然の豊かさを体験できる場所にします。

【整備内容】

- ・まんが図書館・御便殿広場
- ・プレイパーク
- ・現代美術館
- ・レクリエーションエリア
- ・遊戯施設
- ・多目的エリア
- ・ランニングコース
- ・飲食施設(レストラン)
- ・ウェルネス施設

公園の機能をより発揮させるための環境整備

【整備内容】

- ・園内動線・交通アクセス
- ・照明
- ・樹林管理及び植栽
- ・飲食サービス・にぎわい
- ・案内サイン
- ・総合インフォメーションセンター

各施設の概ねの完成時期

第Ⅰ期〔平成29年度・平成30年度〕

既存の施設の魅力に磨きをかける整備

- (1) 陸軍墓地 ……コンセプト ①
- (2) 頼山陽文徳殿 ……①
- (3) まんが図書館・御便殿広場 ……③

〔公園の機能をより発揮させるための環境整備〕

- ・眺望の確保、樹林管理及び植栽
- ・飲食サービス・にぎわい

第Ⅱ期〔平成31年度～平成33年度〕

公園の新たな魅力を創出するための整備

- (1) 展望施設等 ……コンセプト ①②
- (2) 「平和へのメッセージ」を記す碑 ①
- (3) 現代美術館 ……③
- (4) 遊戯施設 ……③
- (5) ランニングコース ……③
- (6) ウェルネス施設 ……③
- (7) プレイパーク ……③
- (8) レクリエーションエリア ……③

〔公園の機能をより発揮させるための環境整備〕

- ・園内動線・交通アクセス
- ・樹林管理及び植栽
- ・案内サイン
- ・照明
- ・飲食サービス・にぎわい
- ・総合インフォメーションセンター

第Ⅲ期〔放射線影響研究所移転後〕

放射線影響研究所の敷地を活用した新たな施設の整備

- (1) 多目的エリア ……コンセプト ③
- (2) 飲食施設(レストラン) ……③
- (3) 「平和へのメッセージ」を記す碑 ①
- (4) 遊戯施設 ……③
- (5) ランニングコース ……③

〔公園の機能をより発揮させるための環境整備〕

- ・園内動線・交通アクセス
- ・樹林管理及び植栽
- ・案内サイン
- ・照明

3 施設配置

前節に整理した主な整備施設等の配置は、以下のとおりです。

施設配置図



4 第Ⅰ期整備について

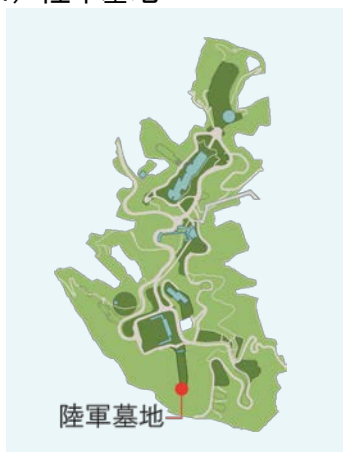
第Ⅰ期は、主に行政が主体となって、歴史的・文化的な価値のある既存の施設の魅力に磨きをかける整備に取り組みます。

具体的には、まず、陸軍墓地や被爆建物である頼山陽文徳殿の整備を行い、市民や観光客が、被爆の実相に触れ、戦争や平和について考えることができるよう「都市に込められた平和への思い」を共有できる場の整備を行います。

また、まんが図書館のイベント空間や御便殿広場の読書空間の整備を行い、心地良い丘の中でゆっくりと穏やかな時間が過ごせるよう「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験できる場の整備を行います。

さらに、ムーアの広場や富士見台展望台、陸軍墓地からの眺望を確保し、園路沿いを中心に明るい樹林環境へ転換させるための樹木の間伐等を行い、公園の機能をより発揮させるための環境の整備を行います。

(1) 陸軍墓地



【整備内容】

日本人戦没者の遺骨が葬られているとともに、広島で亡くなった外国人の墓もある陸軍墓地を、国籍や人種、宗教などの様々な違いを超えて、人類愛のもとに協力し合う「博愛」のシンボルとし、市民や観光客が世界平和を願い、草花を植えることのできる花と緑の豊かな空間とします。そのため、花壇を整備するとともに、墓地の入り口にある老朽化した建屋に替えて、花と緑の空間イメージに適したエントランスを整備します。

〔再整備に向けた方向性の整理「第4章 1 平和・歴史 ①」(45頁)〕



陸軍墓地の整備イメージ

(2) 頼山陽文徳殿



【整備内容】

被爆建物の見学会や被爆樹木の説明会など、被爆の実相を伝える場として活用します。また、演奏会などの市民活動の場としても活用することで、多くの市民に被爆の実相に触れる機会を提供します。そのため、まずは、屋根や窓枠の改修、空調設備や便所の整備、案内板の設置、被爆樹木も含めた庭園の植栽管理等により利用環境を整えます。

〔再整備に向けた方向性の整理「第4章 1 平和・歴史 ①②」(45 頁)〕

(3) まんが図書館・御便殿広場



【整備内容】

■ イベント空間の整備と活用

まんが図書館前の広場に石段を囲う屋根を整備するとともに、1階に保管している約2万冊の漫画を収納できる書庫を館の北側に増設し、広場と1階にイベント空間を確保した上で、企画展やまんが教室、広島にゆかりのある漫画家や人気漫画家との共同イベントなどを開催します。

■ 屋外の読書空間の整備

緑豊かな自然に触れながら緑陰読書を楽しめるよう、御便殿広場にベンチや芝生エリアなどを整備します。

〔再整備に向けた方向性の整理「第4章 2 文化資源 ①③」(46 頁)
「第4章 5 にぎわい ⑤」(49 頁)〕



まんが図書館・御便殿広場の整備イメージ

5 第Ⅱ期整備について

第Ⅱ期は、民間事業者や市民等の知識や経験、資金を活用しながら、公園の新たな魅力を創出するための整備を進めます。

具体的には、デルタ市街地の街並みと平和大通りを間近に見ることができる展望施設を整備し「都市の美しさ・復興の力強さ」を実感できる場を整備するとともに、展望施設には「平和へのメッセージ」を記す碑を設置し「都市に込められた平和への思い」を共有できる場を整備します。

また、レクリエーションエリアやウェルネス施設といった収益が見込める施設は、民間事業者を主体とした整備や管理・運営（民設民営）を視野に入れて取り組みます。また、プレイパークについては、市民活動団体に管理・運営を委ね、その知識や経験を活用することを検討します。こうした施設の整備等に加え、現代美術館の機能強化やランニングコースの整備を行い、より一層「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験できるようにします。

(1) 展望施設等



【整備内容】

■ 展望施設等の整備【第二駐車場の廃止に関する詳細は 67 頁】

南北に広がる比治山公園の中心に位置する現在の第二駐車場周辺は、平和大通りの東端の延長線上に位置しており、その姿を一望することができます。こうした特長をいかし、このエリアを比治山公園「平和の丘」の中心と位置付けた上で、日米友好の証である桜とハナミズキ等を植樹し、四季折々の草花で利用者を出迎える展望庭園を整備するとともに、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の美しい街並みと緑あふれる平和大通りを間近に見ることのできる展望施設を整備します。

なお、これらの整備に伴い、現在の第二駐車場は廃止します。

■ エレベーターの整備【詳細は 67 頁】

比治山公園「平和の丘」の中心に位置付けるエリアとして、主要な三つの園路が交わる交差点（標高 28.1m※）、第三駐車場（標高 32.1m※）、スカイウォーク乗降口（標高 39.3m※）及び現在の第二駐車場（標高 46.8m※）の四つの高さの異なる園地をつなぎ、園内動線の高低差の軽減を図るためエレベーターを整備します。

※「第2章 3 地形（1）平坦地及び標高の整理」（22 頁）

■ 総合インフォメーション機能の付与【詳細は 78 頁】

警備員等が常駐し公園利用者への対応等を行う管理事務所を移設し、園内の総合インフォメーション機能を持たせます。

再整備に向けた方向性の整理 「第4章 1 平和・歴史 ①」（45 頁）

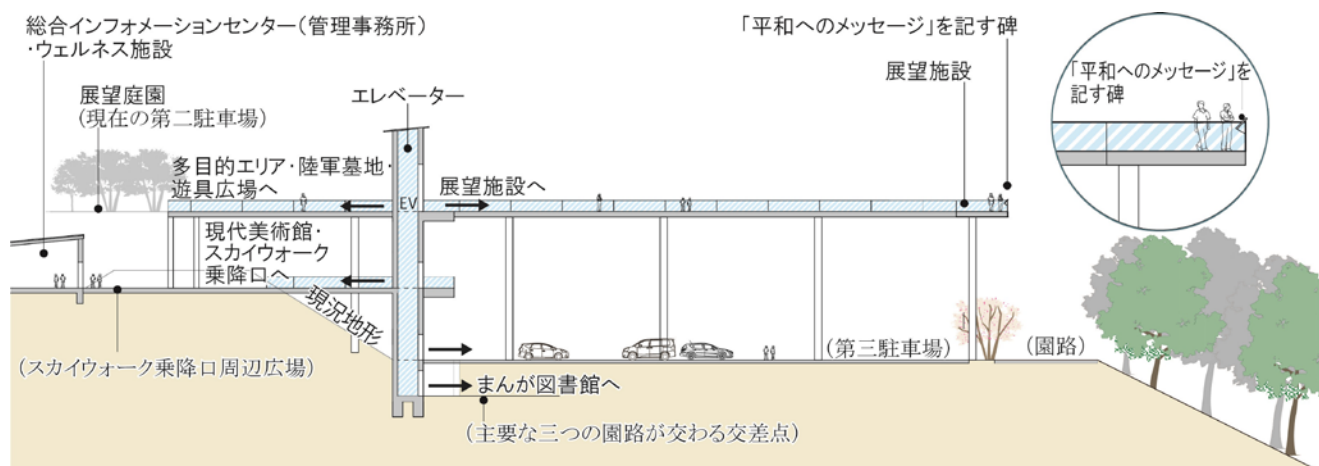
「第4章 4 景観・眺望 ①」（48 頁）

「第4章 5 にぎわい ④」（49 頁）

「第4章 6 園内の回遊 ①」（50 頁）

「第4章 7 駐車場・交通アクセス ①」（51 頁）

展望施設等の断面イメージ



展望施設等の整備イメージ



エレベーター等の整備イメージ

(2) 「平和へのメッセージ」を記す碑



【整備内容】

比治山公園の主要な展望箇所に、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並みを眺めながら、平和への思いを共有しつつ、戦争や平和について考えることができるよう、広島を訪れた世界の為政者や著名人が残した「平和へのメッセージ」を読むことができる碑を設置します。

設置場所は、新たに整備する展望施設を始め、良好な眺望を得られる場所として、ムーアの広場、比治山ホール、富士見台展望台、陸軍墓地を候補とします。

また、より深くメッセージに込められた思いを伝えられるよう、戦前・戦後の古い写真が存在する場所については、スマートフォンなどを活用し、AR(拡張現実)技術などにより、戦前の街並みや被爆直後の廃墟と現在のデルタ市街地との対比ができる環境を整備します。

さらに、平和記念公園、比治山公園の「平和へのメッセージ」を記す碑や陸軍墓地、被爆建物である頼山陽文徳殿や広島陸軍被服支廠、郷土資料館(旧陸軍糧秣支廠^{りょうまつししょう})、さらには似島などを巡り、被爆の実相に触れるとともに、平和への思いを共有しつつ、戦争や平和について考えることができるルートを設定します。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 1 平和・歴史 ①」(45 頁)
「第4章 4 景観・眺望 ②」(48 頁) 〕

(3) 現代美術館



【整備内容】

■ 現代美術による平和発信機能の強化

比治山公園における中核的な文化施設として、ヒロシマ賞受賞作家を中心とした展示を充実させ、優れた美術作品を通して、核兵器廃絶と世界恒久平和を願う「ヒロシマの心」を効果的に発信していきます。

■ 参加体験機能の強化

市民が親しみやすく気軽に訪れることができるよう、参加体験型のワークショップ等の充実やそのためのイベント空間の確保、美術に関する情報発信コーナーを充実します。

■ 公園と一体となった空間演出

美術館にとどまらず、美術館周辺の地形や自然環境を活用したインスタレーションやプロジェクションマッピングを実施するとともに、駐車場から美術館までの園路沿いや美術館周辺に彫刻等の芸術作品を設置します。

■ 魅力向上の推進

ユニークベニューやアフターコンベンションの場として活用するとともに、美術館のライトアップによる夜間の魅力を向上させます。また、便所などのバリアフリー化を図り、利用環境を整えます。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 2 文化資源 ①②」(46 頁) 〕

(4) 遊戯施設



【整備内容】

主要な施設の近くなど園内各所にそれぞれテーマを持った遊戯施設を分散配置し、公園全体を回遊して楽しめるようにします。テーマは、例えばアート、スポーツ、自然、動物など周辺施設や環境になじむものが考えられます。



(例) モエレ沼公園(札幌市)の
イサム・ノグチがデザインし
た遊戯施設



(例) 南池袋公園(東京都)のウッド
チップを敷き詰めた遊び場

〔再整備に向けた方向性の整理「第4章 5 にぎわい ⑥」(49 頁)
「第4章 6 園内の回遊 ②」(50 頁)〕

(5) ランニングコース

(6) ウェルネス施設



【整備内容】

(5) ランニングコース

安全で快適にウォーキングやランニングを楽しめるよう、弾力性のある着色舗装によりコースを明示するとともに、コースや距離を表示した案内板を整備し、周回型のランニングコースを設定します。



(例) 大濠公園(福岡市)の弾性舗装を用
いたランニングコース

(6) ウェルネス※施設

■ ウェルネス施設

ウォーキングやランニングを始め、公園内で健康づくりを楽しむ人々が利用できるシャワー設備や更衣室、ロッカーなどを備え、利用者の憩いの場となるカフェを併設した施設を整備します。

■ 広場の整備

新たに整備する展望庭園に隣接するスカイウォーク乗降口周辺に、ウォーミングアップやクールダウンできる広場を整備します。

※ ウェルネス：積極的に心身の健康維持・増進を図ろうとすること

〔再整備に向けた方向性の整理「第4章 6 園内の回遊 ③」(50 頁)〕

(7) プレイパーク



【整備内容】

自然との触れ合いの中で、遊具作りや水遊び、泥遊び、木登りなど、子どもの自由な発想で楽しむことのできるプレイパークを整備します。プレイパークには、遊び道具を収納する倉庫やエリア内でのルールを示すサイン、水場などの最低限必要となる施設を整備するとともに、安心して遊ぶことができるよう、見守り小屋などを整備します。

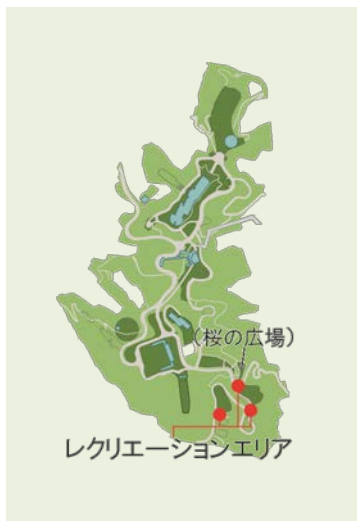
整備場所は、比較的平坦で見通しの良い場所として、富士見台展望台下の樹林を候補とします。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 3 自然環境 ①」(47 頁)
「第4章 5 にぎわい ⑤」(49 頁) 〕



プレイパークの整備イメージ

(8) レクリエーションエリア



【整備内容】

■ バーベキューやデイキャンプ等を楽しめる環境の整備

公園南側の広場と桜の広場は、バーベキューやデイキャンプ等を楽しめる場所とし、水場や屋根、荷下ろしのための車寄せスペースを整備します。また、利用ニーズを見極めながら、ドッグランなどを整備します。

■ 桜の広場の環境整備【詳細は 71 頁】

今後とも桜の名所として、多くの人に親しまれるよう、既存の桜の現況調査や樹勢回復、状況に応じた植樹を実施します。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 3 自然環境 ①②」(47 頁)
「第4章 5 にぎわい ①」(49 頁) 〕



(例) 小戸公園(福岡市)の屋根付き
水場施設

6 第Ⅲ期整備について

第Ⅲ期は、放射線影響研究所の移転後の敷地を活用し、平和・芸術文化ゾーンとして新たな施設の整備を行い、基本計画の総仕上げに取り組みます。

具体的には、基本計画の対象区域内で最も大きな面積を有する放射線影響研究所敷地を活用し、民間事業者や市民等を主体とした整備や管理・運営（民設民営）を視野に入れて、多目的エリアを整備します。また、隣接する同研究所の職員宿舎を活用して飲食施設（レストラン）を整備し、これらの整備により、国籍や人種、宗教などの様々な違いを超え、幅広い人々の交流を生み出せる場とすることで、平和であるからこそ享受できる「都市に息づく文化・自然の豊かさ」を体験できる場をつくり上げます。

さらに、このレストラン周辺が、比治山公園で最も高い場所であることをいかして、「平和へのメッセージ」を記す碑を設置し、「都市に込められた平和への思い」を共有できる場とします。

なお、放射線影響研究所の敷地を活用した整備は、こうした整備内容に沿って進めることにしますが、同研究所の移転の段階で、広島市博物館基本構想（昭和 57 年度策定）及び広島市博物館基本計画（平成 3 年度策定）における位置付けとの整理を行うこととします。

〔平和・芸術文化ゾーン ―放射線影響研究所敷地―〕

(1) 多目的エリア



【整備内容】

■ 屋外彫刻などの設置や芸術文化活動の実施

平和であることを実感しつつ、現代美術を始めとした芸術文化に親しむことができる場として、屋外彫刻や芸術性の高い遊具などを設置し、美術に触れながら、楽しさや感動を味わえる場とします。

また、ヒロシマをテーマとした芸術表現などの創作活動や国際交流イベントの開催も検討します。

■ にぎわいの創出

公園一の広さをいかした市民や観光客の交流の場(イベント広場)として、地産地消の飲食・物販に活用できる回廊状のパーゴラ(日陰用の棚)、音楽イベントや演劇等に利用できるステージ等を整備し、国籍や人種、宗教などの様々な違いを超え、多くの人々が集い交流し、平和であるからこそ楽しめる様々なイベント等を通じて、平和の大切さを多面的に実感できる場とします。

〔再整備に向けた方向性の整理「第4章 5 にぎわい ①③⑤」(49頁)〕



多目的エリアの整備イメージ

(2) 飲食施設（レストラン）



【整備内容】

放射線影響研究所の職員宿舎である比治山ホールを活用し、日本を代表する建築家の一人である前川國男氏により設計された建物の魅力やホールから得られる眺望をいかしつつ、夜景が楽しめ、結婚披露宴も開催できるような上質な空間を持つレストランを整備（誘致）します。また、比治山ホールに隣接するFM放送所横の広場をレストランの庭園として整備します。

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 4 景観・眺望 ①」(48 頁)
「第4章 5 にぎわい ①②」(49 頁) 〕



飲食施設（レストラン）の整備イメージ

(3) 「平和へのメッセージ」を記す碑



【整備内容】

比治山公園で最も高い場所であることをいかして、レストランの庭園には、広島を訪れた世界の為政者や著名人が残した「平和へのメッセージ」を読むことができる碑を設置し、原爆の惨禍から復興したデルタ市街地の街並みを眺めながら、戦争と平和について考えることのできる場とします。【詳細は 59 頁】

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 1 平和・歴史 ①」(45 頁)
「第4章 4 景観・眺望 ②」(48 頁) 〕

(4) 遊戯施設



【整備内容】

放射線影響研究所移転後に、現在の遊具広場に比較的大きな遊戯施設を整備するとともに、同研究所敷地にはテーマを持った遊戯施設を配置します。テーマは、例えばアート、スポーツ、自然、動物など周辺施設や環境になじむものが考えられます。



(例) モエレ沼公園(札幌市)のイサム・ノグチがデザインした遊戯施設



(例) 南池袋公園(東京都)のウッドチップを敷き詰めた遊び場

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 5 にぎわい ⑥」(49 頁)
「第4章 6 園内の回遊 ②」(50 頁)〕

(5) ランニングコース



【整備内容】

ウォーキングやランニングを楽しめるよう、放射線影響研究所敷地に弾力性のある着色舗装、コースや距離を表示した案内板を整備し、公園全体を周回できるランニングコースを完成させます。



(例) 大濠公園(福岡市)の弾性舗装を用いたランニングコース

〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 6 園内の回遊 ③」(50 頁)〕

7 公園の機能をより発揮させるための環境整備

前節までは、構想の実現に向け、コンセプトごとの整備施設等の内容について、概ねの完成時期に沿ってまとめました。本節では、公園の機能をより発揮させるための様々な環境整備について取りまとめます。

(1) 園内動線・交通アクセス

以下に示す方針に基づき、園内動線・交通アクセスを整えます。

【方針】

- 現在の第二駐車場の位置に展望庭園を整備することに合わせて、主要な三つの園路が交わる交差点（標高 28.1m※）、第三駐車場（標高 32.1m※）、スカイウォーク乗降口（標高 39.3m※）及び現在の第二駐車場（標高 46.8m※）の四つの高さの異なる園地をつなぐエレベーターを整備し、園内動線の高低差の軽減を図ります。

そのほか、ムーアの広場についても、バリアフリー化が図られていないことから、対策を講じます。

※ 「第2章 3 地形 (1) 平坦地及び標高の整理」(22 頁)



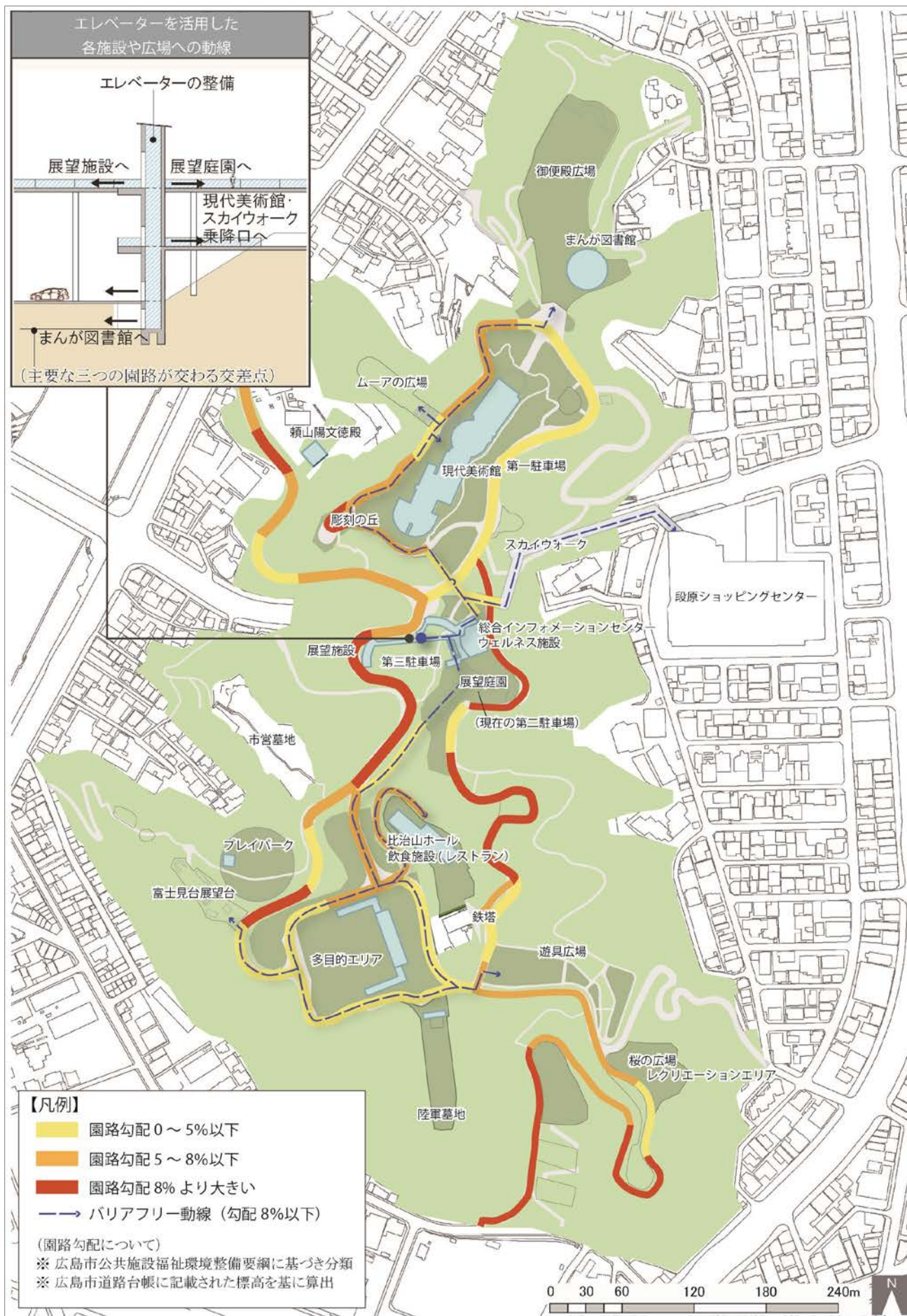
エレベーター等の整備イメージ

- 第二駐車場(58 台)は展望庭園の整備に伴い廃止します(公園内駐車場台数合計 115 台⇒57 台)。廃止後は、スカイウォークで接続する段原ショッピングセンターの駐車場(800 台)の利用促進を図ることとします。また、第一駐車場・第三駐車場の有料化も検討します。
- スカイウォークは、段原ショッピングセンターの駐車場と比治山公園をつなぐとともに、高低差を軽減できるアクセス手段として、高齢者や障害者、ベビーカーを利用する子育て世代等の利便性を確保していることから、今後も継続的に稼働できるよう、計画的に維持・補修を行います。
- 第二駐車場に接続する園路を自動車の進入を制限する歩行者専用の園路とし、自動車と歩行者の動線を原則分離することとします。さらに、こうした歩行者専用の園路を利用して、ランニングコースを設定します。【詳細は 60・66 頁】
- バーベキューやデイキャンプ等を楽しめる場所として整備する「桜の広場」には、荷下ろし用の車寄せを設けるとともに、陸軍墓地及び市営墓地周辺には小規模な駐車場を設けます。
- 利用者の増加に合わせて、ひろしま観光ループバス「めいぷる一ぷ」のルート延長や停留所の増設などを検討します。また、観光レンタサイクル「ぴーすくる」の利用促進に取り組みます。

再整備に向けた方向性の整理 「第4章 6 園内の回遊 ①②」(50 頁)

「第4章 7 駐車場・交通アクセス ①②」(51 頁)

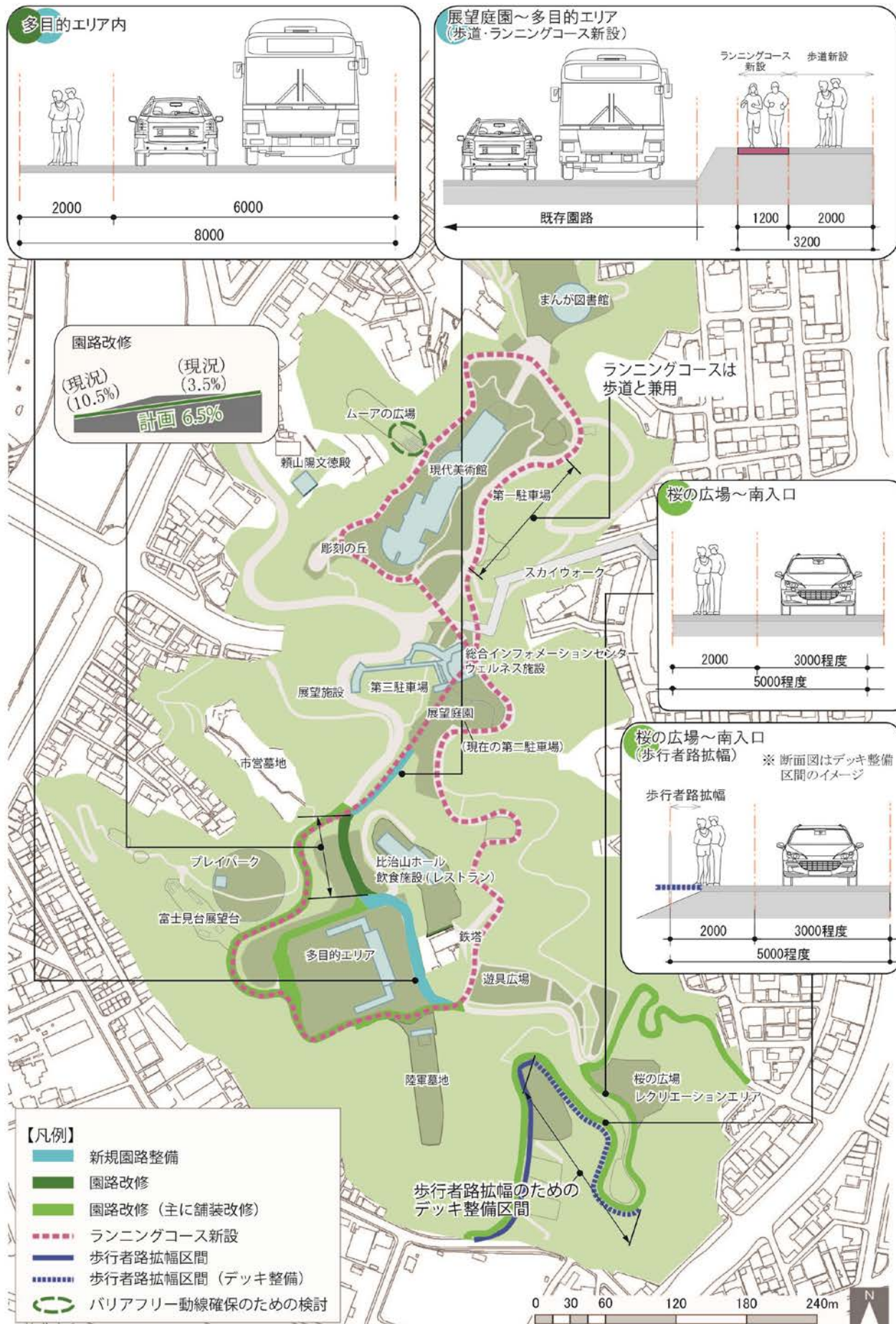
バリアフリー動線図



園内動線・交通アクセス図



園路改修計画図



(2) 眺望の確保、樹林管理及び植栽

以下に示す方針に基づき、眺望の確保、樹林管理及び植栽を行います。

【方針】

- 眺望が確保できていない視点場について、視界を妨げる樹木の間伐・剪定を行います(① )。
 - 園路沿いを中心に、防犯対策も含め気持ち良く散策できる明るい樹林環境に転換させるため、高密度に繁茂している幹の細い樹木を中心に間伐し、下草刈りを行います。さらに主要な園路沿いには、市民参加による林床植物※の植栽を検討します(② )。
- ※ 林床植物：太陽光の届きにくい場所に生育する耐陰性の強い植物のことで、春から夏にかけて花を咲かせるシャガ、テイカカズラ、ヤブラン、秋から冬にかけて実を付けるマンリョウ、ヤブコウジなどがあり、季節を通じて楽しむことができます。
- 今後とも桜の名所として、多くの人に親しまれるよう、以下のとおり既存の桜の樹勢回復、太陽光を好む桜の成長を阻害しないための明るい樹林環境の形成及び新たな桜の植樹を実施します(③)。

	樹勢回復 ()	明るい樹林環境 の形成 (樹木の間伐・剪定 及び下草刈り)	植樹
既存の桜があるエリア ()			
御便殿広場、ムーアの広場、富士見 台展望台、陸軍墓地、桜の広場	○ (必要に応じて)	—	○ (現地の状況に応じて)
尾根筋の園路沿い	○ (必要に応じて)	○	○ (現地の状況に応じて)
新たに桜を植樹するエリア()			
展望庭園	—	—	○
多目的エリア周辺	—	○	○

※ 公園内に点在する上記以外の桜についても、必要に応じて樹勢回復を行います。

- 間伐については、大きく成長した樹木は伐採しないなど、柔軟な対応を図ります。
- 比治山公園の樹林は都心における貴重な自然であることに加え、法面保護の観点からも、樹木の間伐は視点場及び園路沿いととどめます。

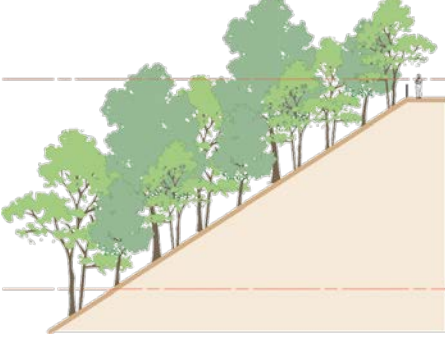
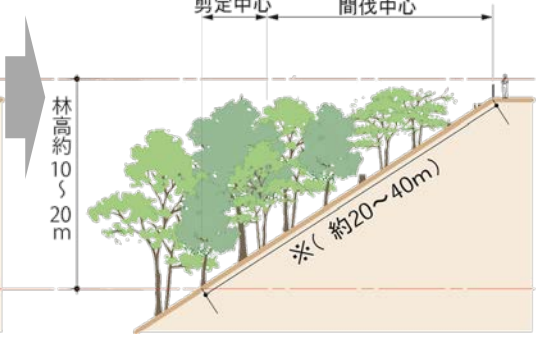
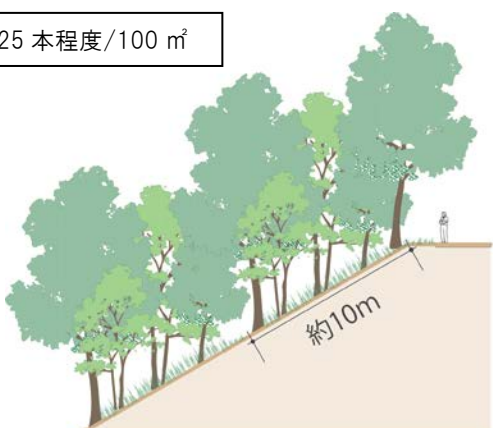
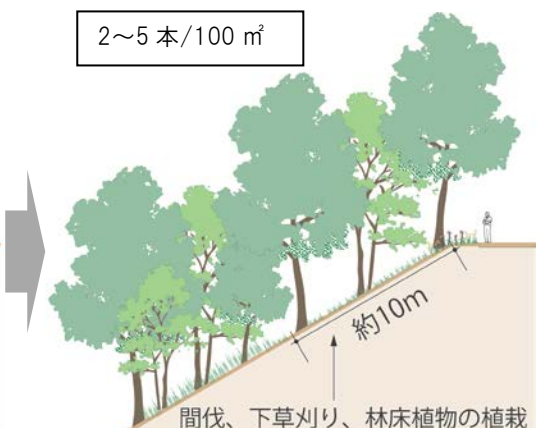
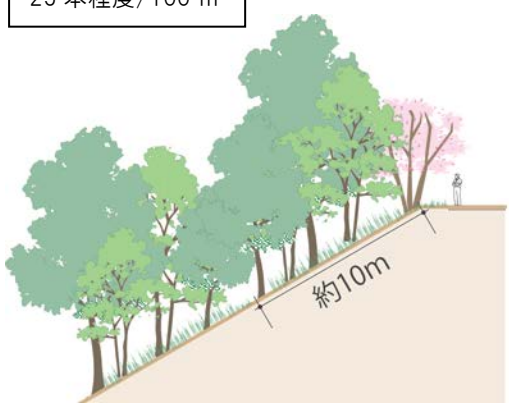
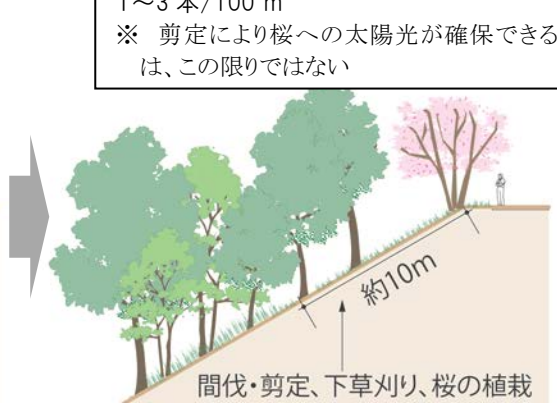
〔再整備に向けた方向性の整理 「第4章 3 自然環境 ②③④」(47頁)
「第4章 4 景観・眺望 ①③」(48頁)〕

眺望の確保、樹林管理及び植栽計画図



（既存の桜の位置は平成 21 年度に実施した「公園施設現況調査」の結果等による）

眺望の確保、樹林管理の方向性と植栽計画

目的	場所	管理の方向性
① 眺望の確保	眺望が確保できていない視点場	・ 視界を妨げる樹木を間伐・剪定します。 【整備前】  【整備後】  ※ 間伐・剪定エリア ムーアの広場(緩傾斜部):約40m (急傾斜部):約20m 富士見台展望台:約30m 陸軍墓地:約40m 剪定中心 間伐中心
② 散策環境の向上・防犯対策	園路沿い	・ 防犯対策も含め気持ち良く散策できる明るい樹林環境に転換するため、高密度に繁茂している幹の細い樹木を中心に間伐し、下草刈りを行います。 ・ 主要な園路沿いには、市民参加による林床植物の植栽を検討します。 【整備前】 25本程度/100㎡  【整備後】 2〜5本/100㎡  間伐、下草刈り、林床植物の植栽
③ 桜の名所の継承	尾根筋の園路沿い・広場等	・ 太陽光を好む桜の成長を阻害しないよう、まずは樹木の間伐・剪定及び下草刈りを行い、特に明るい樹木環境を整えた上で、桜を植栽します。 【整備前】 25本程度/100㎡  【整備後】 1〜3本/100㎡ ※ 剪定により桜への太陽光が確保できる場合は、この限りではない  間伐・剪定、下草刈り、桜の植栽

(3) 案内サイン

以下に示す方針に基づき、案内サインを設置します。

【方針】

- 施設や広場、園路、交通アクセス、記念碑・モニュメントを案内・紹介するサインを設置します。また、現代美術館やまんが図書館を始め、公園内で行われるイベントなどの紹介も行います。
- 案内サインは多言語表記とし、景観に配慮しつつ、公園全体として統一感のあるデザインとします。デザインの選定に当たっては、本市を代表する魅力的な拠点として比治山公園をブランド化できるデザイン性に優れたものとします。
- 既存の案内サインも含め再整備することとしますが、それぞれの老朽度を考慮し、個別に整備時期を検討します。

〔再整備に向けた方向性の整理「第4章 6 園内の回遊 ②④」(50頁)〕

案内サインの分類

種 類	内 容	配置の考え方	備 考
① 総合案内サイン	・園内の詳細な地図 ・イベント情報など	比治山公園「平和の丘」の中心であり、動線の要所となる展望庭園に設置	
② 園名・案内サイン	・公園名称 ・園内の簡単な地図など	主要な入口及び広場に設置	各入口の名称や名称のない広場については、新たに名称を決定することとします。 なお、決定に当たっては、名称を公募する等の方法も検討します。
③ 園名サイン	・公園名称	上記以外の入口に設置	
④ 誘導サイン	・施設、広場、園路及び入口などの方向、距離など	園路の分岐点に設置	
⑤ 解説サイン	・土地や建物の歴史、景色など	以下の場所に設置 ・御便殿広場 ・頼山陽文徳殿 ・陸軍墓地 ・放射線影響研究所敷地 ・比治山貝塚 ・ムーアの広場 ・富士見台展望台 など	
⑥ ランニングコース表示	・コースや距離など	ランニングコースの基点となるスカイウォーク乗降口付近、コース上に設置	

案内サイン配置計画図



(4) 照明

比治山公園の照明灯は、主要な園路や広場を中心に概ね全域に設置していますが、公園南側の一部には設置していない区域があります。このため、以下に示す方針に基づき、照明灯等を設置します。

【方針】

- 自動車の主動線、ランニングコース及び放射線影響研究所敷地において、照明灯を設置していない区域に照明灯を設置します。
- さらに、特徴的な建物である現代美術館は、ムーアの広場や平和大通りなどからの夜間の景観の向上を目指し、ライトアップを行います。
- なお、電線類については、現在は架空配線となっていますが、景観や安全性に配慮し、今後の園路整備等に併せて地中化を図ることも検討します。

再整備に向けた方向性の整理 「第4章 3 自然環境 ③」(47 頁)
「第4章 4 景観・眺望 ③」(48 頁)

(参考)JIS 照度基準表

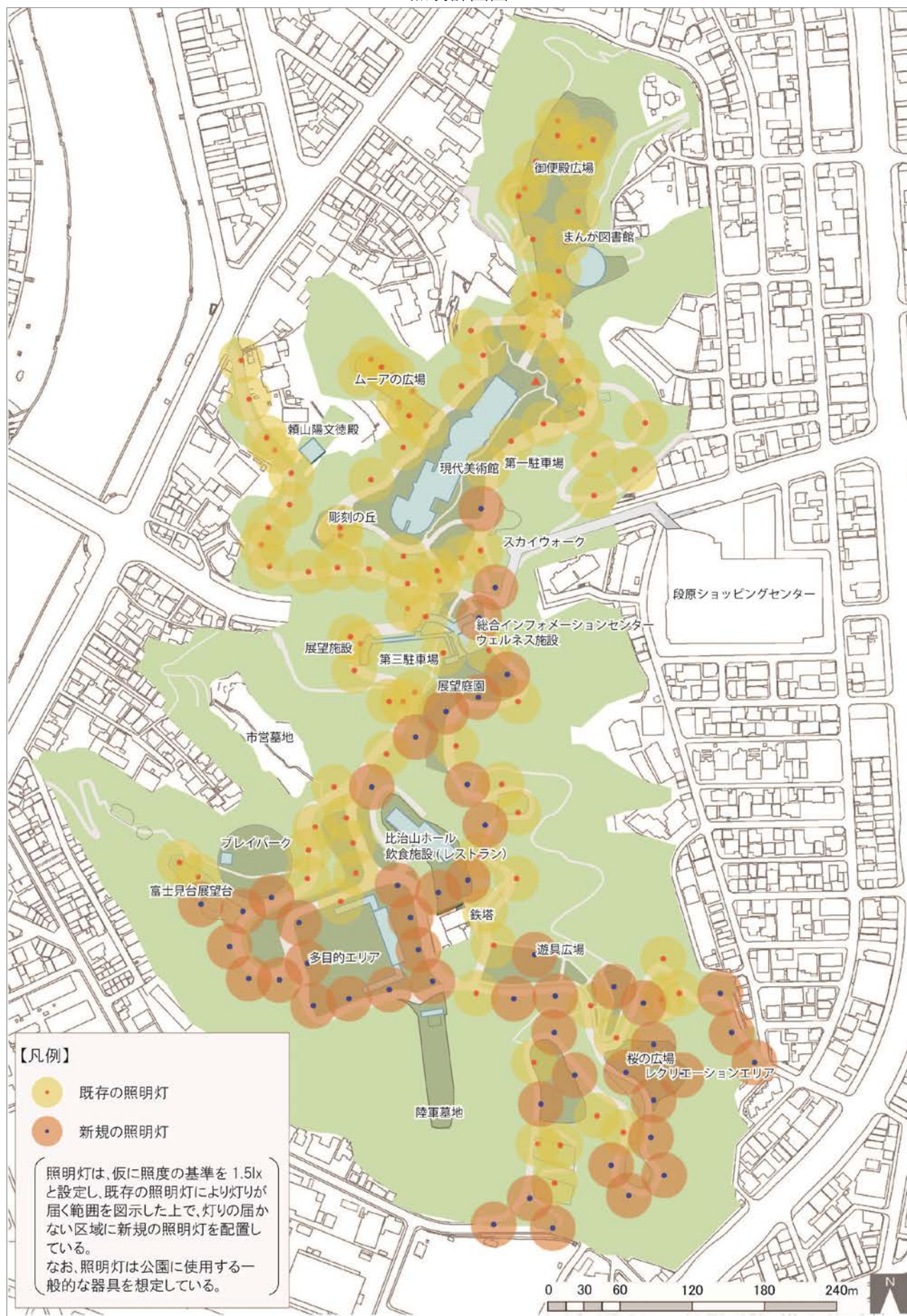
地面を照らす明るさの基準である照度(lx:ルクス)は、以下に示す JIS 照度基準表のとおり、公園の中でも「主な場所」と「その他の場所」により、1lx から 30lx まで基準に幅があります。

JIS 照度基準表

照度 (lx)	通 路				交通関係広場	公 園
	地 上		地 下			
1000	アーケード 商店街 (繁華)			商店街 (繁華)		
750						
500	アーケード 商店街 (一般)			商店街 (一般)	連絡通路 (交通量大)	
300						
200	商店街 (繁華)				連絡通路 (一般)	
150						
100	商店街 (一般)					駅前広場 空港広場 (交通量大)
75						
50	市街地					駅前広場 (一般)
30						
20	住宅地					主な場所
10						
5						その他の 場所
2						
1						

- 備考
1. 本表は、主として歩行者のための公共施設について規定したものである。
 2. 地下街の各構えに接する地下道における非常用照明設備は、床面で 10lx 以上の照度を確保すること。
 3. 主として自動車交通を対象とした照明については、下記の基準による。
 - 自動車交通の用に供する道路は、JIS Z 9111 (道路照明基準)。
 - 自動車交通の用に供するトンネルは、JIS Z 9116 (トンネル照明基準)。
 - 歩道橋は、JIS Z 9114 (道路照明基準)。
 4. 道路には階段を含む

照明計画図



(5) 飲食サービス・にぎわい

以下に示す方針に基づき、飲食サービスの提供及びにぎわいの促進を図ります。

【方針】

- 御便殿広場や遊具広場等について、移動販売車も含め軽飲食できる場所を設定します。
- また、現代美術館以外の売店・軽飲食店は、ほとんど営業しておらず、自動販売機による飲み物の販売にとどまっている上、昭和 20 年代から昭和 40 年代に設置されたもので、建物の老朽化が進み、防犯・防災及び景観上、好ましくない状況にあることから、除却する方針とします。
- 御便殿広場や多目的エリア等において、年間を通じて様々なイベントや活動が行われるよう、フリーマーケットやマルシェなどの物販、飲食店の出店を含むイベントの開催について、比治山公園独自の公園使用許可基準を設定するなど、市として必要な措置を検討します。

〔再整備に向けた方向性の整理「第4章 5 にぎわい ①⑤」(49 頁) 〕

東京都では、都が管理する 17 の公園において、使用許可基準を緩和することで、商業ベースのイベントの開催を可能としており、民間事業者を主体とした魅力的なイベントによるにぎわいが生まれています。

また、広島市においても、旧市民球場跡地を含む中央公園では、イベント開催に関する公園使用の許可基準を見直すことで、民間事業者が主催する様々なイベントによるにぎわいが生まれています。



写真：旧市民球場跡地でのイベントの様子

(6) 総合インフォメーションセンター

比治山公園には、公園内の巡視や通行車両の誘導、公園利用者への対応等を行う警備員が常駐する管理事務所がありますが、昭和 45 年に設置されたもので、建物の老朽化が進んでいます。

また基本計画においては、南北に広がる比治山公園の中心に位置する現在の第二駐車場周辺を比治山公園「平和の丘」の中心と位置付けた上で、新たに展望庭園を整備することとしています。

こうしたことから、管理事務所は、展望庭園に隣接するスカイウォーク乗降口周辺に移設し、園内の総合インフォメーション機能を持たせることとします。

8 施設整備に向けた留意事項

比治山芸術公園基本計画及び基本設計に基づき整備した、現代美術館やまんが図書館といった建物や、ベンチや照明灯等の施設は、統一感のある空間となるよう、一定の基準に沿ってデザインされています。

本計画に基づく整備に当たっては、こうした既存施設と調和し、公園全体として統一感のあるデザインになるよう配慮します。



写真:比治山公園内にあるベンチや照明灯等の施設

また、比治山公園及びまんが図書館は、切迫した災害の危険から緊急的に逃れるための指定緊急避難場所に指定されており、整備に当たっては、被災時の避難場所としての機能を阻害しないよう配慮します。

第6章 整備・管理・運営について

比治山公園をより多くの人々が訪れる魅力的な公園とするために、基本計画に基づく整備は、民間事業者や市民等の多様な主体と連携し、それぞれの得意分野をいかし取組を進めていく必要があります。

この基本計画の実現に当たっては、三つの期間に分けた上で整備を進めることとしており、その中で、民間事業者や市民等の多様な主体と連携して具体的に取組を進める時期は平成 31 年度からの第Ⅱ期からとなります。

例えば、第5章で整理した整備施設のうち、多目的エリアや飲食施設（レストラン）、レクリエーションエリア、ウェルネス施設等の収益が見込める施設については、民間事業者を主体とした整備や管理・運営が考えられます。また、プレイパークについては、知識や経験を有する市民活動団体が管理・運営している事例も多く、市民活動団体を主体とした管理・運営が考えられます。

さらに、公園におけるイベントの開催、公園内の楽しみ方に関する情報提供といった利用者へのサービスなども、公園の利用者自らが連携して企画・立案し、実施することによって、数多くのイベントの開催、新しい魅力的な楽しみ方の発見・情報発信が期待できます。

実際に現在の比治山公園では、平成 28 年 3 月に段原地区町づくり協議会が開催した「第 1 回比治山桜咲けまつり」や、平成 28 年 10 月に段原ショッピングセンターが比治山公園ワークショップの参加者等と連携して開催した「はじめまして、比治山祭」といった、民間事業者や市民等の多様な主体による自発的な活動が始まっています。

こうしたことから、第Ⅱ期からの施設整備等を円滑にスタートさせるため、第Ⅰ期において、パークマネジメント※の視点に立ち、様々な手法の中から比治山公園に最も適した整備や管理・運営手法について、幅広く検討していくこととします。

なお、平成 28 年度に国が創設した「地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）」を活用し、民間事業者の協力を得ることについても検討します。

※ パークマネジメント：行政を中心とした手法を見直し、民間事業者や市民等と連携し、それぞれの得意分野をいかしつつ、公園の整備や管理・運営を行うこと

（参考）都市公園に関する整備・管理・運営を取り巻く潮流

国土交通省では、平成 26 年度に、「新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会」を設置し、都市公園を活用したまちづくりの方向性等について検討を行い、平成 28 年 5 月に最終とりまとめ※¹を公表しました。とりまとめの中で、PFI や指定管理者制度の活用等により、民間事業者や市民等と連携した整備や管理・運営を一層加速させることが求められています。

既に東京都や名古屋市では、こうした様々な主体と連携した取組の推進を公園の整備や管理・運営についてまとめた計画※²に盛り込み、積極的に取り組んでいます。また、大阪市では、設計・整備から管理・運営までを一括して民間事業者に委ねた天王寺公園（エントランスエリア）を平成 27 年 10 月にリニューアルオープンさせ、兵庫県では、有馬富士公園において、県民参加の運営・計画協議会の下、様々な市民活動団体が公園利用者を楽しませる「夢プログラム」を年間 700 回以上実施※³するなど、全国で様々なパークマネジメントの取組が広がっています。

※¹ 「新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開について（新たな時代の都市マネジメントに対応した都市公園等のあり方検討会最終とりまとめ）」（国土交通省、平成 28 年 5 月）

※² 「パークマネジメントマスタープラン」（東京都、平成 27 年 3 月）、「名古屋市公園経営事業展開プラン」（名古屋市、平成 25 年 7 月）

※³ 山崎亮著「コミュニティデザイン 人がつながるしくみをつくる」（榊学芸出版社（平成 23 年 5 月））

参 考〔法規制の整理〕

1 都市計画法

比治山公園は、明治 36 年に本市で最初の公園として開設された後、昭和 27 年に都市計画法上の公園として位置付けられました。その概要は以下のとおりです。また、同法に基づく土地利用に関する指定は以下のとおりです。

都市施設に関する指定

名 称	比治山公園
種 別	総合公園
面 積	約 29.8ha

土地利用に関する指定

項 目	内 容
都市計画	都市計画区域
区域区分	市街化区域
地域地区	用途地域(第二種住居地域(容積率:200%、建ぺい率:60%))
	準防火地域

2 都市公園法

比治山公園は、昭和 39 年に都市公園法上の公園として位置付けられており、同法施行令における「主として一の市町村の区域内に居住する者の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする都市公園」に該当します。

また、公園内に公園施設として設けられる建築物については、都市公園法第 4 条、同法施行令第 6 条及び広島市公園条例第 3 条の 2 において、その許容面積が次のとおり定められています。

許容建築面積と新設する施設の建築面積との試算値

公園施設ごとの公園の敷地面積に対する 建築面積の割合		許容建築面積 (A)	(参考)		
			現行施設の 建築面積 (B)	新設する施設の 建築面積 (C)	整備の可否 (A)>(B)+(C)
特 例 が 認 め ら れ る 施 設	建築基準法第二条第一項に規定する 建築物(便所、売店・軽飲食店、管理事 務所など)	(公園開設面積) 269,338.19 m ² ×2% 5,386 m ²	便所 売店・軽飲食店 管理事務所 ほか 約 600 m ²	管理事務所 ウェルネス施設 など 約 1,000 m ²	○
	・休憩所その他の休養施設 ・野球場その他の運動施設 ・植物園その他の教養施設 ほか	(公園開設面積) 269,338.19 m ² ×10% 26,933 m ²	まんが図書館 現代美術館 付属施設 約 5,000 m ²	—	○
	・屋根付き広場 ・壁を有しない雨天用運動場 ・壁を有しない休憩所 ・屋根付野外劇場	(公園開設面積) 269,338.19 m ² ×10% 26,933 m ²	—	ステージ 回廊式パーゴラ 屋根スペース 約 1,000 m ²	○

3 景観法

景観法に基づき、平成26年7月に策定した広島市景観計画において、比治山公園は、一般区域に位置付けられており、ムーアの広場等を含む西側の地区は、景観計画重点地区の一つであるリバーフロント・シーフロント地区(リバーフロント地区)に位置付けられています。

なお、景観計画区域(広島市全域)において一定規模以上の建築物の建築等(届出対象行為)を行う場合には、景観計画に定める景観形成の方針や形態意匠の基準(行為の制限)に適合する必要があります。

景観法に基づく届出対象行為

地区区分	建築物の建築等	工作物(限定列举)の建設等		
		①工作物 1 煙突、電波塔、 ガスタンクなど	②工作物 2 携帯電話等基地 局アンテナ、時間 貸し駐車場、自 動販売機など	③工作物 3 橋りょう
景観計画重点地区	以下のいずれかに当たるもの ○ 高さ13mを超えるもの ○ 幅員が10mを超える道路に係る 沿道の角地では、高さ7mを超えるもの ○ 主な河川又は港湾に面する部分 では、高さ7mを超えるもの ○ 建築(築造)面積1,000㎡を超えるもの		種類ごとに規模 等限定	地区内の主な 河川に架かる もの等
リバーフロント・シーフロント地区				
一般区域 (景観計画重点地区以外)		—	—	—

景観計画重点地区におけるリバーフロント・シーフロント地区

